

飛魚



TANEGASHIMA
MEDICAL CENTER

第 28 号

平成 29 年 9 月

社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター

理 念

島民の皆様に愛され 信頼される病院

私たちは思いやりの心と
技術を研鑽する真摯な姿勢で
豊かな地域医療の向上に努めます

基本方針

1. 地域に根ざし、信頼される病院

- ・誰でも、いつでも安心して利用できる、地域に密着した病院作りをいたします。
- ・救急体制を充実し、24時間対応します。
- ・地域医療機関などとの連携を図り、必要に応じた役割りを果たします。

2. 温もりと思いやりのある医療を提供する病院

- ・各部署の強い連携により温もりのあるチーム医療を行います。
- ・患者様の権利を尊重し、安全医療の推進に努めます。
- ・快適かつ安心して医療を受けられる療養環境を提供いたします。

3. 医療の質を高め、お互いに学び合える病院

- ・医療人として専門知識、技術の研鑽に努めます。
- ・患者様共々学びあい、ニーズに合った地域医療を目指します。

表紙「飛魚」：田上悠峯 書

「悠峯」とは、義順顕彰会会長 田上容正が、公益財団法人
日本習字教育財団から命名された雅号です。

表紙写真

平成28年7月浦田海岸にて遊泳中のウミガメを撮影。

- ・カメラ：リコー GRD IV
- ・撮影者：大坪正拓（当院 理学療法士）

目次 Contents

理念・基本方針

巻頭言	病院長 高尾 尊身	4
理事長挨拶	理事長 田上 寛容	6
「飛魚」の歴史		8

概要

概要	12
沿革	15
センター組織図	19
委員会組織図	20
常勤医師	21
職員数	22
病院日誌	23

実績

種子島医療センター	診療部門	30
	診療支援部門	39
	統計資料	43
へき地医療センター		54
田上診療所		56
わらび苑		58
関連施設		60

寄稿

「種子島医療センターの歩みと私の自分史」	会長 田上 容正	62
「故郷に帰ってきて」	医師 岩元 二郎	65
透析室便り(好きなもの)	腎臓内科 春田 隆秀	66
鹿児島県医師会会長賞を受賞して	看護師 山下ひとみ	67
H28 医学生研修スケジュール		68
H29 医学生研修スケジュール		69
研修医・医学生寄稿		70
ボランティア受け入れ報告	看護局長 山口智代子	76

部門別紹介

【診療部】

外科(消化器・乳腺甲状腺)	82
総合診療科	83
循環器内科	84
消化器内科	85
眼科	86

整形外科	86
脳神経外科	87
小児科	87
麻酔科	88
泌尿器科	89
血液内科	90
耳鼻咽喉科	90
【看護部】	
看護部	92
外来看護部	94
手術室・中央材料室	95
外科・脳外・整形病棟(2階病棟)	96
内科・眼科・小児科病棟(3階西病棟)	97
地域包括ケア病棟(3階東病棟)	98
回復期リハビリテーション病棟(4階病棟)	99
透析室	100
クラーク室	101
【診療支援部】	
薬剤室	104
画像診断室	105
中央検査室	108
臨床工学室	110
栄養管理室	111
リハビリテーション室	112
各チーム紹介	114
組織図	121
地域医療連携室	120
【事務部】	
総務課	126
医事課	127
【直轄部門】	
DMAT	130
医療安全管理室	133
システム管理室	134

院内委員会活動

院内感染対策委員会	136
NST(栄養サポートチーム)委員会	137
緩和ケア委員会	138
化学療法委員会	139
看護部教育委員会	140
クリニカルパス委員会	141
リスクマネジメント委員会	143
医療安全管理委員会	144
接遇委員会	145
看護部記録委員会	146
転倒転落防止WG	147
褥瘡対策委員会	148

レクリエーション委員会	149
-------------	-----

関連施設

田上診療所	152
訪問介護ステーション野の花	153
わらび苑	154
院内保育所	155

活動紹介

へいじろう紹介	158
種子島鉄砲まつり	160
TSC（種子島医療センターサーフィン部）	161
新入職員研修	162
ふれあい看護体験報告	163
つながる想い in かごしま	165
サロン種子島	166
促通反復療法（川平法）について	167

研究・研修

業績	170
医師業績	172
研修報告書優秀者	172
院外研究発表	174
看護部門	174
医療事務部門	177
リハビリ部門	178
院内介護・看護研究発表	181
介護部門 2階病棟	181
介護部門 3階西病棟	182
介護部門 包括ケア病棟	182
介護部門 回復期リハビリテーション病棟	183
看護部門 外来	184
看護部門 2階病棟	185
看護部門 3階西病棟	186
院内研修会実績	187
永年勤続表彰者	189

編集後記



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
病院長 高尾 尊身

今から約四半世紀前の1992年、アマチュア天文家の向井優さんが発見した小惑星は「種子島」と命名された。JAXAの宇宙センターがある島の名前と同じである。この島で夜空を見上げると、満点の星が瞬いている。この宇宙のどこかにもう一つの「種子島」があると思うと不思議な感動を覚える。

種子島の歴史は古く、旧石器時代に人類が生活をした数少ない離島の一つである。また、鹿児島県内で最も古い遺跡（約3万5千年前）が種子島にあることは余り知られていない。弥生時代後期から独自の貝文化が展開し、貝製品を中心とする広田遺跡の出土品は、国の重要文化財に指定されている。この島は考古学的にも貴重な島なのである。

また、種子島は鉄砲伝来の島として、日本の歴史上重要な役割を果たした。1543年の夏、第14代種子島時堯の時代（当時16歳）、この島にポルトガル船が漂着した。時堯は鉄砲2挺を購入し、刀鍛冶の八板金兵衛らに命じ火縄銃を作らせた。それまで日本には無かった「ネジ」がこの島で初めて製造され、その小さなテクノロジーは明治維新後の産業革命に大きく貢献した。

それから約四百年の後、種子島に宇宙センターが建設されたのもまた不思議な巡り合わせによる。当時はまだ沖縄返還が実現しておらず、日本の主権が及ぶ最南端に近い適地が種子島だったのである。言い換えれば、沖縄返還がそれ以前に実現していれば、種子島に宇宙センターが作られることはなかったのかも知れないのだ。1968年9月に最初の気象観測用SBロケットが発射され、1976年2月、日本初の静止衛星「きく2号」が打ち上げられた。今年の6月には、日本版GPS衛星「みちびき」が打ち上げられ、その機能は私たちの生活環境（医療環境も含めて）を大きく変えることになるだろう。

このように、種子島は数奇な運命によって歴史にその名を刻んできた。村上春樹風に言えば、この島では思いもよらないことが起こり、思いもよらない人たちが、思いもよらないかたちで歴史を紡いでいるのだ。種子島を知れば知るほどこの島の不思議な魅力に引き付けられる。壮大な自然、豊かな農畜産業、漁業、古い歴史、宇宙センターの先端科学が

融合した島であり、住む人々は温和でやさしいのだ。そしてこの島でも、近年の急速な高齢者人口の増加が離島医療の在り方に大きな影響を及ぼし始めた。

私たちの病院は救急患者をすべて受け入れる。医師をはじめ全ての職員が力を合わせ、全ての患者さんのニーズに応える。当たり前のことなのだが、それをちゃんと実行していることに驚きを感じる。プライマリーケアの前線に立ち、様々な症例の体験を通じて患者さんとのコミュニケーション能力を高めることは、良質な医療従事者になるための必須条件であることに疑いはなく、むしろ種子島の医療は私たちにそれを確信させる。

一方、これからの医療は大きく変わることが予測されている。AI（人工知能）やロボットの導入、再生医療、遺伝子診断・治療、医療機器・薬剤の新規開発などの進歩は著しく、数年後の医療は現在と異なる様相を呈すると予感させられる。幸いこれらの最新の医療情報は離島でも瞬時に手に入る。種子島は昔からそうであったように、思いもよらないことが起こる島である。その時、我々は俊敏かつ慎重に、新しい医療を受け入れる努力をしなければならぬ。

そこで、未来の種子島医療を支えるために今は以下の項目に力を注ぎたい。

- 1) プライマリーケアの意義と面白さを次世代の医療従事者に伝える：全国から来島する研修医、医学生、看護師、リハビリ療法士たちに対する種子島での研修活動を積極的に指導・支援。
- 2) ワークライフバランス：種子島の自然と歴史は人々の精神的・肉体的ストレスを癒す力がある。都会では得られない「自然」「遊び」「癒し」と、医療のプロフェッショナルとしての充実した仕事環境の実現。
- 3) 地域包括ケアと防災医療：在宅看護、在宅リハビリ、へき地診療、さらに自治体との連携による健康寿命を延ばす予防医療の展開と想定外の自然災害に対する医療対策。

幸運な時を刻む島。私たちはそれを過去から未来へ受け継いでいく。未来を切り拓く種子島の医療は私たちに託されている。

種子島をいつまでも安心して暮らせる島にするために



社会医療法人義順顕彰会
種子島医療センター
理事長 田上 寛容

田上病院が種子島医療センターとなって1年が経ちました。

今年の1月21日には、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實先生を特別講演の演者としてお迎えし、病院祭を開催することができました。病院祭には多くの島民の方々にご参加いただき、種子島医療センターとなった当院を知って頂く貴重な機会になったと思います。この場をかりて、病院祭に参加して頂いた皆様、そして病院祭を開催するにあたりご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

そもそも、病院名称変更のきっかけは、病院名に“種子島”と入れることで、これから当法人が種子島のためとして運営されるという、大きな方向性を示すことが目的でした。では、種子島のための病院として、これから何をしなければならないかという点、それは、“種子島に適した医療介護の提供”です。

現在、国の医療介護における大きな方針として、社会保障・税の一体改革が挙げられます。日本における少子高齢化の進展など大きな社会環境の変化に対応していくために、①地域全体で治し支える地域完結型の医療介護、②地域の病床や在宅医療、介護の充実、③地域包括ケアシステムの構築、④疾病の予防や早期発見の促進、という方針が立てられ、それに沿ったさまざまな施策が行われています。しかし、離島である種子島では都市部とは社会環境が大きく異なるため、種子島における医療介護の充実、そして永続的な提供の維持のためには、“種子島に適した医療介護の提供”を考える必要があると思われます。

現在、当法人でのの方針を考えると、種子島医療センターでは、急性期医療体制の充実のみならず回復期医療の維持が必要とされています。在宅医療に関しても需要の増加を認め、これから重要となる予防医療や早期発見、早期治療のための動きも始まっています。わらび苑では、種子島における地域包括ケアシステムの一環として在宅医療介護の中心となるべく、

中間施設としての機能強化に努めています。また、田上診療所では中種子地区におけるかかりつけ医としての役割を維持していこうとしています。

ただ、当法人だけで、種子島に必要なすべての医療介護が提供できるものではありません。これから種子島における医療介護の提供を維持していくためには、地域行政、医療機関、介護福祉施設などが一体となり連携体制を強めていく必要があると思います。つまり、これからも種子島の島民が安心して住める島にするためには、島全体での取り組みが必要となると考えます。そして、その連携の中心になるのが当法人であり種子島医療センターになると思います。

病院祭での御講演の中で鎌田實先生は、現在の当法人の取り組みを高く評価して頂きました。それはひとえに、これまで当法人をご利用頂き支えて頂いた島民の皆様のお陰であり、これまで勤務して頂いた職員の皆様の努力の賜物だと思います。今回の病院祭は、これからの種子島の医療介護を考えるのに貴重な機会になりました。これから当法人は、種子島をいつまでも安心して暮らせる島にするために、そして種子島の島民と共に歩むべく、さらなる医療介護の充実発展に努めてまいりたいと思います。

これまでに発行した「飛魚」



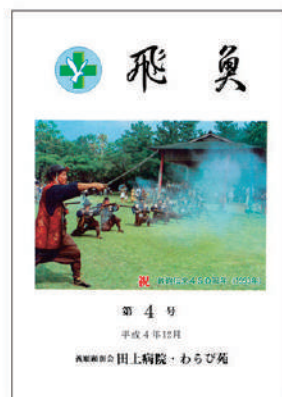
創刊号



第2号



第3号



第4号



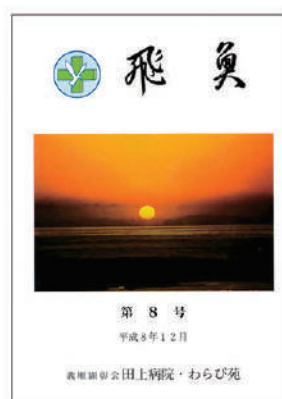
第5号



第6号



第7号



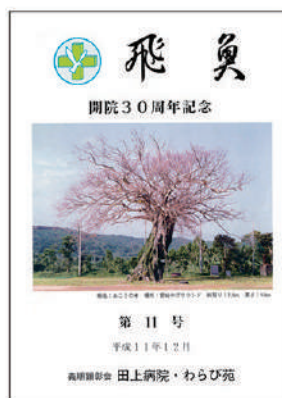
第8号



第9号



第10号



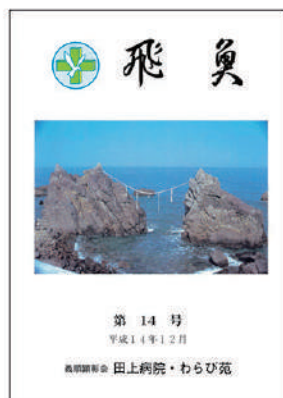
第11号



第12号



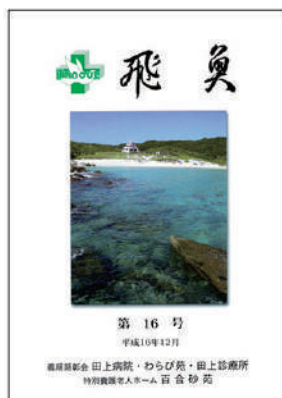
第13号



第14号



第15号



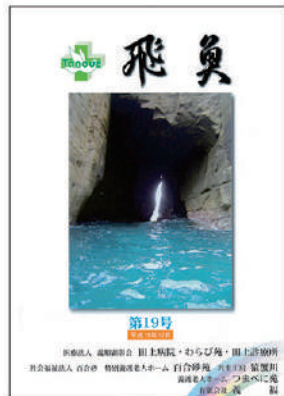
第16号



第17号



第18号



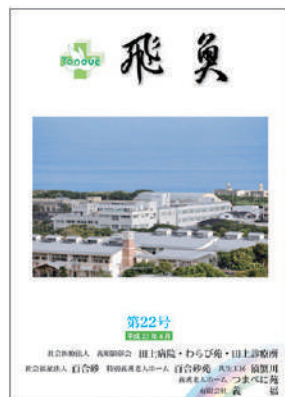
第19号



第20号



第21号



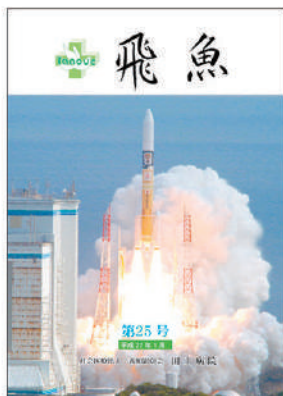
第22号



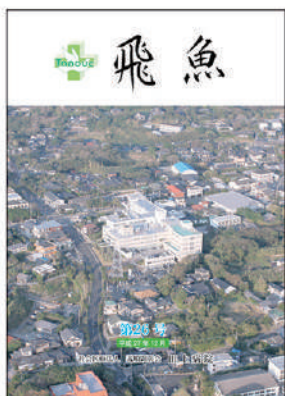
第23号



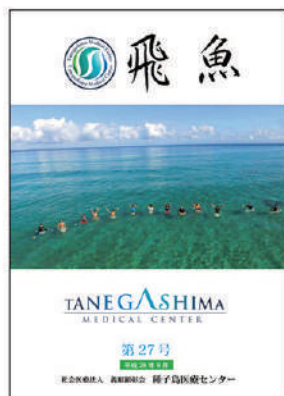
第24号



第25号



第26号



第27号

病院概要

概要

病院沿革

センター組織図

委員会組織図

常勤医師

職員数

病院日誌

病院概要

Tanegashima Medical Center Annual Report 2017

- 1) 名称 社会医療法人 義順顕彰会 種子島医療センター
- 2) 所在地 〒 891-3198
鹿児島県西之表市西之表 7463 番地
- 3) 電話・FAX 電話：0997-22-0960 FAX：0997-22-1313
- 4) メールアドレス master@tanegashima-mc.jp
- 5) ホームページ <http://www.tanegashima-mc.jp>
- 6) 開設者 社会医療法人 義順顕彰会
- 7) 管理者 高尾 尊身
- 8) 診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科
眼科、リハビリテーション科、麻酔科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科
耳鼻咽喉科、放射線科、呼吸器内科、心療内科、神経内科、血液内科
糖尿病内科、肝臓内科、腎臓内科、ペインクリニック内科、消化器外科
肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科
- 9) 病床数 204床（うち3階西病棟に感染症病床2床）

病棟名	主診療科	病床数	4床室	2床室	1床室
2階病棟	整形外科 脳神経外科	55	11	3	5
3階西病棟	小児科 眼科	59	12	3	5
3階東病棟	地域包括 ケア	42	7	4	6
4階病棟	回復期 リハビリ	48	9	3	6
合計		204	39	13	22

10) 指定種別

① 保険・公費負担医療機関

感染症指定医療機関（第二種）

感染症指定医療機関（結核）

労災保険指定医療機関

指定自立支援医療機関（育成医療）

指定自立支援医療機関（更生医療）

指定自立支援医療機関（精神通院医療）

生活保護指定医療機関

特定疾患治療研究事業委託医療機関

小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関

肝炎治療特別促進事業指定医療機関

戦傷病者特別援護法指定医療機関

原子爆弾被害者医療指定・原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関

② 病院機能

DMA T 指定病院

DPC 対象病院

へき地医療指定病院

災害拠点病院
 救急告示病院Ⅱ類（救急指定二次）
 SARS受入医療機関
 エイズ治療・協力病院
 地域がん診療病院
 難病医療指定協力医療機関
 特定健診委託医療機関
 結核予防法指定病院
 結核ハイリスク者健診事業受託医療機関
 人間ドック契約病院
 ATL検査委託実施医療機関
 日本赤十字センター血液製剤備蓄所
 肝炎診療専門医療機関
 消化器がん検診精密検査実施協力医療機関
 大腸がん検診精密検査実施協力医療機関
 肺がん検診精密健診実施協力医療機関
 低線量CT肺がん検診助成事業受託医療機関
 乳がん検診業務委託医療機関
 石綿・じん肺検診委託医療機関
 予防接種相互乗り入れ医療機関
 日本整形外科学会認定研修施設
 日本麻酔学会麻酔科認定病院
 臨床研修関連病院
 日本外科学会外科専門医制度関連施設

11) 施設基準

① 基本診療料の施設基準

第309号	一般病棟入院基本料（10対1）
”	看護必要度加算1
第84号	救急医療管理加算
第9号	診療録管理体制加算1
第12号	医師事務作業補助体制加算1
第3号	急性期看護補助体制加算（25対1 看護補助者5割以上）
第85号	療養環境加算
第461号	重症者等療養環境特別加算
第25号	栄養サポートチーム加算
第57号	医療安全対策加算2
第20号	救急搬送患者地域連携紹介加算
第57号	救急搬送患者地域連携受入加算
第59号	総合評価加算
第21号	データ提出加算2
第00号	協力型臨床研修病院入院診療加算

② 特定入院料

第8号	小児入院医療管理料5
第13号	回復期リハビリテーション病棟入院料2
第31号	地域包括ケア病棟入院料1

③ 特掲診療料の施設基準

第 153 号	がん性疼痛緩和指導管理料
第 69 号	小児科外来診療料
第 81 号	夜間休日救急搬送医学管理料
第 238 号	ニコチン依存症管理料
第 21 号	がん治療連携計画策定料
第 168 号	薬剤管理指導料
第 66 号	医療機器安全管理料 1
第 99 号	検体検査管理加算 (I)
第 28 号	ヘッドアップティルト試験
第 93 号	神経学的検査
第 12 号	コンタクトレンズ検査料 1
第 17 号	小児食物アレルギー負荷検査
第 288 号	CT 撮影及び MRI 撮影
第 21 号	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
第 41 号	大腸 CT 撮影加算
第 35 号	外来化学療法加算 2
第 61 号	無菌製剤処理料
第 56 号	脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
〃	初期加算 (脳血管等)
第 96 号	運動器リハビリテーション料 (I)
〃	初期加算 (運動器)
第 14 号	認知療法・認知行動療法 2
第 3 号	透析液水質確保加算 2
第 15 号	経皮的冠動脈形成術
第 15 号	経皮的冠動脈ステント留置術
第 80 号	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
第 38 号	大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)
第 6 号	医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術
第 41 号	胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
第 17 号	輸血管理料 II
第 2 号	輸血適正使用加算
第 22 号	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
第 101 号	麻酔管理料 (I)
第 6 号	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本
第 49 号	がん患者リハビリテーション料
第 26 号	人工肛門造設術前処置加算

④ 入院時食事療養及び入院時生活療養

第 335 号	入院時食事療養 (I)・入院時生活療養 (I)
〃	食堂加算

⑤ その他の施設基準

第 36525 号	酸素価格
-----------	------

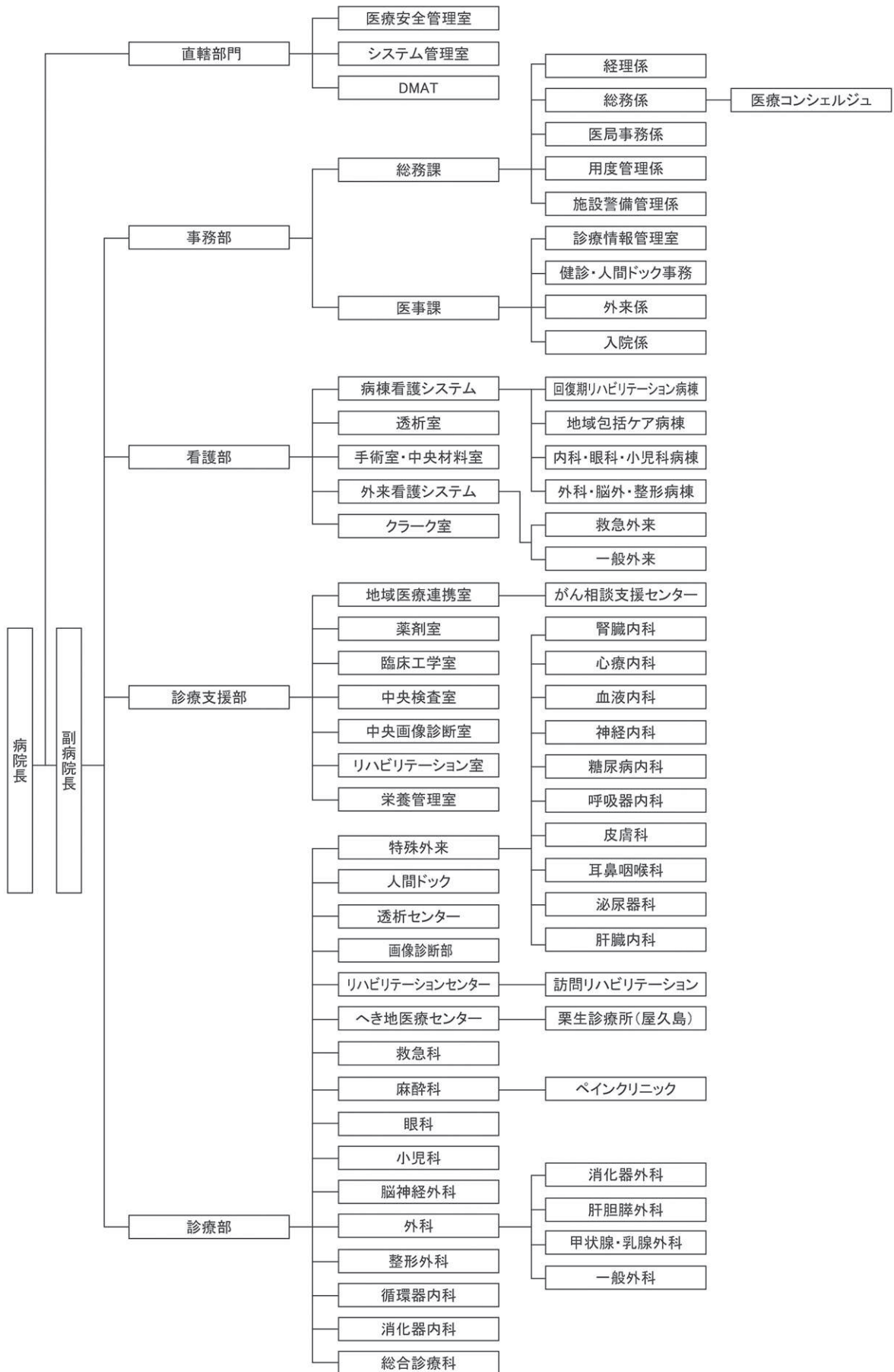
年 月	概 要
昭和 44 年 12 月	田上容正内科(診療所)開設
昭和 55 年 02 月	人工透析開始
昭和 56 年 09 月	医療法人容正会 設立
昭和 57 年 05 月	病院(28床)へ
昭和 59 年 03 月	56床病院を新築 全身用CTスキャナ設置
昭和 59 年 07 月	医療法人義順顕彰会 設立
昭和 60 年 11 月	病床数99床へ
平成 03 年 07 月	老人保健施設わらび苑 開設(入所50床、通所10名)
平成 06 年 01 月	MR I 設置 脳神経外科 新設 【標榜科目(8)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、理学療法科、脳神経外科
平成 06 年 02 月	病床数 202床へ
平成 06 年 07 月	泌尿器科 新設 【標榜科目(9)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、理学療法科、脳神経外科、泌尿器科
平成 07 年 01 月	病床種別変更 一般病床202床→157床 療養型病床群 45床新設
平成 07 年 03 月	わらび苑 痴呆棟開設のため78床に増床(痴呆20床、一般58床)
平成 08 年 11 月	理学療法科をリハビリテーション科に変更 リウマチ科 新設 【標榜科目(10)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科
平成 09 年 04 月	眼科 新設 【標榜科目(11)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科
平成 09 年 05 月	訪問看護ステーション「野の花」開設
平成 11 年 04 月	田上病院 院長 田上容祥 就任
平成 11 年 06 月	理学療法Ⅱ 認可
平成 12 年 02 月	麻酔科、放射線科 新設 【標榜科目(13)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科、麻酔科、放射線科
平成 13 年 02 月	増築工事6階建 増築
平成 13 年 05 月	作業療法Ⅱ 認可
平成 14 年 08 月	循環器科 新設
平成 14 年 08 月	リウマチ科 廃止 【標榜科目(13)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科
平成 15 年 02 月	オーダーリングシステム稼動開始(シーエスアイ)

平成 15 年 05 月	第二種感染病床 2 床、結核モデル病床 2 床 使用許可
平成 15 年 06 月	病床種別変更 一般病床 1 5 7 床→2 0 2 床(うち第二種感染症病床 2 床) 結核モデル病床 2 床 新設 療養型病床群 廃止
平成 15 年 08 月	病床種別変更 一般病床 2 0 2 床のうち、回復期リハビリテーション病棟(3 6 床) 認可
平成 16 年 01 月	電子カルテシステム稼動(診療記録)(シーエスアイ)
平成 16 年 05 月	心臓カテーテル検査開始
平成 16 年 06 月	病院機能評価 複合B 認定 地域リハビリテーション広域支援センター指定
平成 16 年 10 月	病棟再編 内科病棟・整形病棟移動
平成 18 年 04 月	病棟再編 1 5 対 1 入院基本料(1 6 6 床) 結核入院基本料(2 床) 回復期リハビリテーション病棟(3 6 床)
平成 18 年 05 月	病棟再編 1 5 対 1 入院基本料(2 0 2 床) 3 階東病棟 回復期リハビリテーション病棟の取り下げ 3 階東病棟・4 階病棟移動
平成 18 年 07 月	病棟再編 1 5 対 1 入院基本料(1 5 4 床) 結核入院基本料(2 床) 4 階病棟 回復期リハビリテーション病棟(4 8 床)
平成 18 年 09 月	1 3 対 1 入院基本料(1 5 4 床)
平成 18 年 11 月	1 0 対 1 入院基本料(1 5 4 床)
平成 19 年 01 月	心療内科外来 新設 【標榜科目(14)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、リウマチ科、眼科、麻酔科、放射線科、心療内科
平成 19 年 12 月	看護師寮新築
平成 20 年 01 月	中央材料室・手術室 改築
平成 21 年 04 月	亜急性期病床 8 床運用開始(3 階東病棟 8 床) D P C 請求開始 管理棟 新築 呼吸器科 新設 【標榜科目(15)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科
平成 21 年 05 月	薬局改築、安全キャビネット・クリーンベンチ導入
平成 21 年 06 月	日本医療機能評価 V e r . 5 . 0 認定
平成 21 年 09 月	亜急性期病床 1 2 床へ増床(3 階東病棟 8 床、3 階西病棟 4 床)
平成 22 年 02 月	リウマチ科 新設 【標榜科目(16)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科

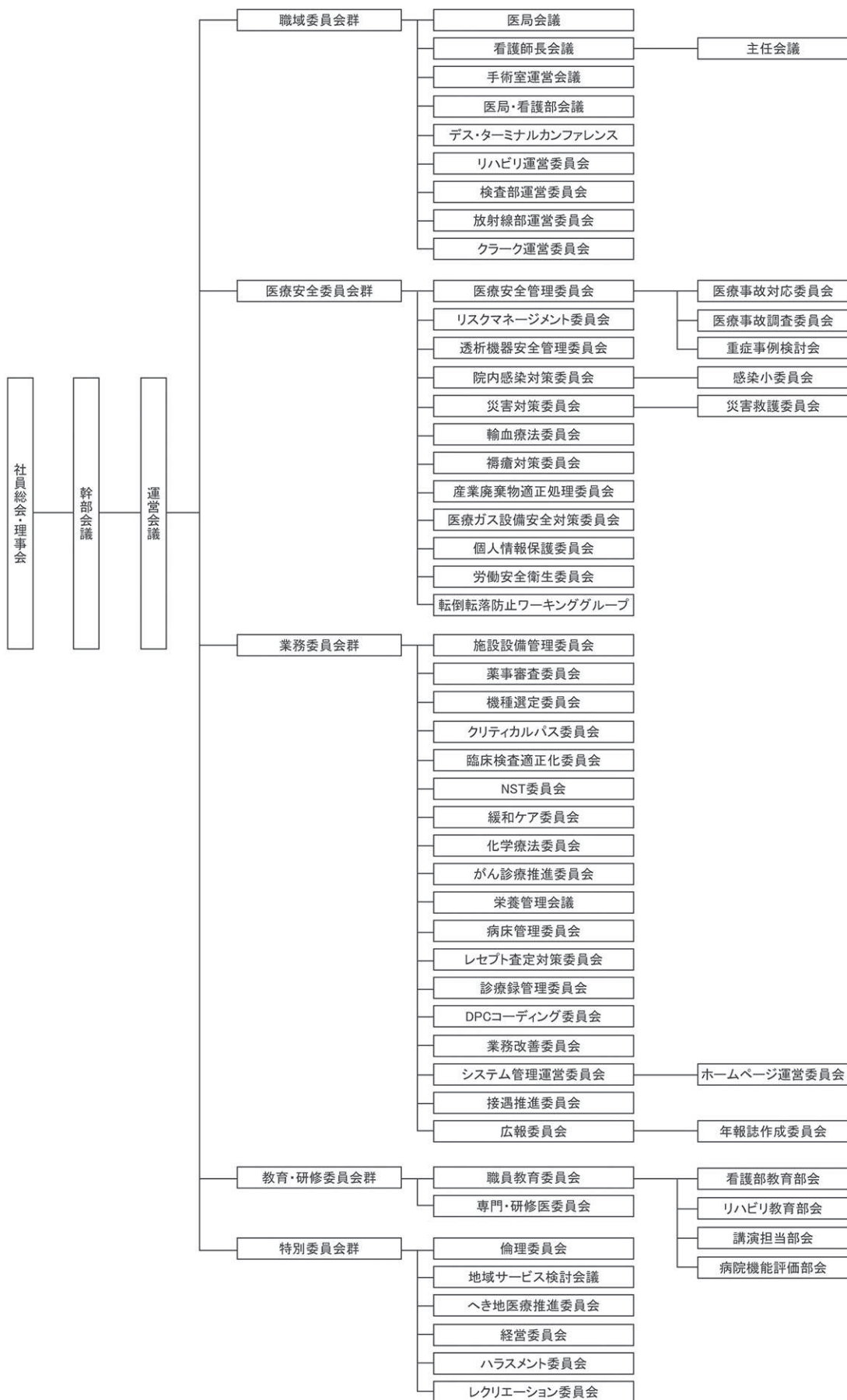
平成 22 年 04 月	社会医療法人 認定 会長に田上容正 就任
平成 22 年 06 月	理事長に田上寛容 就任
平成 22 年 08 月	副院長に田上純真 就任
平成 22 年 12 月	ハイケアユニット 4床設置(2階病棟)
平成 23 年 04 月	鹿児島県がん診療指定病院指定 消化器内科 新設 【標榜科目(17)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器科、心療内科、呼吸器科、リウマチ科、消化器内科 新電子カルテシステム稼働(ソフトウェア・サービス)
平成 23 年 08 月	亜急性期病床 16床へ増床(3階東病棟 12床、3階西病棟 4床)
平成 24 年 09 月	ハイケアユニット 4床廃止
平成 24 年 11 月	介護保険訪問リハビリ開設
平成 25 年 01 月	亜急性期病床 20床へ増床(2階病棟 8床、3階東病棟 8床、3階西病棟 4床)
平成 25 年 04 月	320列CT導入
平成 25 年 05 月	MR I 更新 検査室、小児科周り改修工事
平成 26 年 01 月	X線TV装置(X線透視装置)更新
平成 26 年 02 月	生化学検査機器更新 自動精算機 1、2号機更新
平成 26 年 04 月	副会長に田上容祥 就任 院 長に高尾尊身 就任 副院長に山口智代子 就任
平成 26 年 08 月	放射線室内ネットワーク機器更新
平成 26 年 09 月	検査画像統合システム、放射線情報管理システム更新
平成 26 年 10 月	亜急性期病床廃止 遠隔医療支援システム(SCOPIA)稼働
平成 26 年 12 月	自動分包機稼働
平成 27 年 01 月	病棟再編 3階東病棟 地域包括ケア病棟(42床)
平成 27 年 03 月	副会長 田上容祥 辞職
平成 27 年 04 月	脳神経外科医師の非常勤体制開始(常勤医不在) へき地診療支援センター 開設 へき地診療支援センター センター長に猿渡邦彦 就任 法人事務局長に羽生守彦 就任 肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科 新設 【標榜科目(25)】 内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器内科、心療内科、呼吸器内科、リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科
平成 27 年 05 月	遠隔病理診断システム導入 末血検査機器更新 医師住宅 5棟完成(松島) ステラッド滅菌器更新

	<p>ペインクリニック内科 新設</p> <p>【標榜科目(26)】</p> <p>内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、循環器内科、心療内科、呼吸器内科、リウマチ科、消化器内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、神経内科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、乳腺・甲状腺外科、ペインクリニック内科</p>
平成 27 年 06 月	鼻用手術装置導入
平成 27 年 07 月	田上診療所休診 (8月末まで)
	耳鼻科手術開始
平成 27 年 08 月	回転用X線撮影装置 更新
	外科用X線テレビシステム 更新
平成 27 年 09 月	病理解剖 1 例目実施
	脳神経外科 常勤医師による診療開始
平成 27 年 10 月	地域リハビリテーション広域センター取り下げ
平成 28 年 01 月	無停電源装置 更新
平成 28 年 04 月	結核病棟の陰圧工事
	病院名を種子島医療センターに変更
	病院長補佐に花園幸一外科部長、北園和成内科部長を任命
	看護局長に山口智代子 就任
	看護部長に戸川英子 就任
平成 28 年 05 月	地域がん診療病院に指定(厚生労働省)
	がんサロン「サロン種子島」開設
	医師住宅(単身赴任者用) 2 棟完成(松島)
	眼底撮影システム一式 更新
平成 28 年 08 月	全自動散剤分包機(Sinngle-R93Z II)更新
平成 28 年 09 月	病院内空調機 更新
	訪問リハビリテーションを訪問看護ステーション「野の花」に編入
平成 28 年 10 月	鹿児島県行政視察(県議会環境厚生委員会)
平成 28 年 12 月	超音波診断装置ARIETTA70 更新
	生体情報モニターシステム(オムロンV7000)更新
平成 29 年 01 月	種子島医療センター病院祭(於:西之表市民会館)
	特別講演 諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實
平成 29 年 02 月	病理解剖 2 例目実施
平成 29 年 03 月	わらび苑施設長 松山隆美氏 辞職
	医師住宅 2 棟完成
平成 29 年 04 月	わらび苑施設長 猿渡邦彦氏 就任

組織図



委員会・会議組織図



(平成29年7月1日現在)

氏名	年月	診療科	役職名
田上 寛容	H16.4.1	循環器内科	理事長
高尾 尊身	H26.4.1	外科	病院長
田上 純真	H15.4.1	眼科	副院長・眼科部長
花園 幸一	H27.7.1	外科	消化器・乳腺甲状腺外科部長
肥後 直倫	H28.7.1	外科	消化器・乳腺甲状腺外科医長
島田 紘一	H26.4.1	内科	外来医長
伊集 守知	H28.4.13	内科	消化器内科医長
野田 政博	H28.4.25	内科	総合診療科医師
遠迫 孝昭	H28.8.1	内科	総合診療科医師
兒玉 祐樹	H29.4.1	内科	内科医師
北園 和成	H25.6.1	循環器内科	循環器内科部長
牧野 智礼	H28.4.1	消化器内科	消化器内科部長
盛満 人之	H27.10.1	脳神経外科	脳神経外科部長
松本 松昱	H27.4.1	神経内科	総合診療科部長
高山 千史	H17.1.1	麻酔科	麻酔科部長
高野 純	H28.4.1	整形外科	整形外科部長
音羽 学	H28.10.1	整形外科	整形外科医長
岩元 二郎	H29.4.1	小児科	小児科部長
楢松 貴成	H28.7.1	小児科	小児科医長
井上 博貴	H29.7.1	小児科	小児科副医長
池村 紘一郎	H23.4.1	リハビリテーション科	リハビリテーション科部長
竹野 孝一郎	H16.1.1	田上診療所	診療所院長
猿渡 邦彦	H27.4.1	わらび苑	施設長

職員数

Tanegashima Medical Center Annual Report 2017

(各年度4月1日現在) 単位：人

	H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
医師	15		16		19	1	19		21	
看護部	(計 183)	(計 10)	(計 180)	(計 11)	(計 170)	(計 23)	(計 173)	(計 23)	(計 175)	(計 27)
正看護師	91	2	91	2	79	7	81	9	82	12
准看護師	50	3	47	5	44	8	43	5	43	5
看護助手	32	3	31	3	32	5	32	7	34	7
クラーク	10	2	11	1	15	3	17	2	16	3
薬剤師	2	0	2	0	4	0	2	0	4	1
薬剤室補助員	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0
放射線技師	5	0	6	0	6	0	6	0	6	0
画像診断室補助員	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1
臨床検査技師	3	1	4	1	4	1	6	1	5	1
検査室補助員	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
臨床工学技士	2	0	2	0	5	0	7	0	8	0
管理栄養士	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
リハビリテーション室	(計 37)	(計 2)	(計 37)	(計 1)	(計 52)	(計 2)	(計 48)	(計 2)	(計 56)	(計 1)
理学療法士	16	0	13	0	27	1	23	1	27	1
作業療法士	12	0	15	0	15	0	14	1	16	0
言語聴覚士	4	0	5	0	6	0	7	0	9	0
あん摩指圧	4	0	3	0	3	0	2	0	2	0
補助員	1	2	1	1	1	1	2	0	2	0
医事課	(計 17)	(計 13)	(計 14)	(計 15)	(計 15)	(計 10)	(計 15)	(計 9)	(計 13)	(計 10)
入院	5	1	5	0	6	0	6	0	4	0
外来	12	1	9	4	9	2	9	2	9	3
フロア	0	9	0	9	0	6	0	5	0	5
予約	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
医療情報管理室	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
システム管理室	2	0	2	0	2	0	1	0	1	0
地域医療連携室	1	0	1	0	2	0	2	0	2	0
事務室	4	0	5	0	6	1	7	1	7	1
庶務	3	4	3	3	2	4	2	4	3	4
用度管理室	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
保育所	7	2	5	2	5	2	5	2	5	1
その他	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2
合計	289	36	285	37	300	47	301	46	315	50

年	月	日	内 容	
平成 28 年	4	1	「種子島医療センター」へ病院名変更	
		6~7	新規採用者合同オリエンテーション	
		10	ナース専科就職ナビ合同就職説明会出展:東京ビッグサイト	
		11~15	医学生実習(鹿児島大学2名)	
		13	医療法人看護学校病院説明会	
		16,17	DMAT隊 熊本地震出動	
		19	第1回災害対策運営会議開催	
		21	第1回がんサロン『サロン種子島』開催	
		22	インターネット講演会 『岡山大学病院における精神科リエゾンチームの取り組み～せん妄・不眠対策を中心に～』 演者:岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上 真一郎先生	
		28	看護部伝達講習会 ①日本静脈経腸栄養学会の学術集会の報告:栄養サポートチーム 西川友美子 ②脳卒中リハビリテーション看護:4階病棟 井上功巳	
		5	1	「へいじろう」2016春 第37号発刊
			2~31	研修医受入(鹿児島大学1名)
	9~13		医学生実習(鹿児島大学2名)	
	13		法人新入職員歓迎会	
	14		第1回つながる想いinかごしま～がんとともに生きる～イベントへ6名参加	
	16~20		医学生実習(鹿児島大学2名)	
	19		看護部勉強会『血圧が下がりました。どうしますか??』麻醉科部長 高山 千史先生	
	25		看護部勉強会『滅菌と滅菌物の取り扱いについて』 講師:(株)ホメメディカル山口大輔先生	
	27		第1回社員総会・理事会(福元法律事務所)	
	28		鹿児島厚生連病院感染対策メンバー来訪	
	30~6/3	医学生実習(鹿児島大学2名)		
	6	1~30	研修医受入(産業医科大学1名)	
		6	国際医療福祉大学 高橋 泰教授来訪『二次医療圏の医療構想対策について』	
		10	救急医療講演会『腹部救急の診断と治療～ガイドラインを踏まえて～』 演者:産業医科大学 救急医学・集中治療医学 教授 真弓 俊彦先生	
		13~17	医学生実習(鹿児島大学3名)	
		18	鹿児島県医師会会長賞「看護業務功労賞」受彰:門脇輝尚	
		23	院内講演会 【入職講演】伊集守知先生、野田政博先生、今村輝彦先生 【退職講演】 ①食物アレルギーについて:小児科 中崎 奈穂先生 ②胃がんについて:外科 萩原 貴彦先生	
		27~7/1	医学生実習(鹿児島大学3名)	
		30	看護部伝達講習会『エンドオブライフケア』 迫田かおり 西川秋代	
		7	1~30	研修医受入(鹿児島大学1名)
			6	参議院議員・鹿児島県知事選挙不在者投票(入院患者様)
	6~8		種子島中央高校就業体験学習(看護部4名)	
	7		めいろうこども園七夕事業所訪問	
	8		鹿児島市医師会病院平成28年度新規採用者リフレッシュ研修受入:参加者16名(引率含む)	
	14		看護部勉強会『看護記録監査報告会』 講師:各部署記録委員	
	15		がんサロン NPO法人がんサポートかごしま 理事長 三好綾様、副理事長 野田真記子様 来院	
16	看護適職フェア出展:東京新宿			
21	輸血勉強会『輸血に関する基本的な事について』 講師:日赤センター 様			
23	チームステップス研修会(産業会館) 講師:亀田総合病院 産科部長 総合周産期母子医療センター長 鈴木 真先生			
23	ふれあい看護体験(種子島高校13名、種子島中央高校8名、開陽高校1名 参加)			
28	西之表市教育委員会主催遠泳大会(医師看護師派遣)			
28	看護部伝達講習会『新重症度・医療・看護必要度について』 射場和枝 瀬古まゆみ			
8	1	「へいじろう」2016夏 第38号発刊		
	2	中種子養護学校卒業生追指導 3名来院		
	1~30	研修医受入(鹿児島大学2名)		
	2	中種子養護学校卒業生追指導 3名来院		
	3	看護部伝達講習会『認知症ケアとケア算定にむけて』久田香澄 福山光知子 石井智子 園山愛美		
	5・12・19・26	看護部勉強会『人工呼吸器の取り扱いについて』臨床工学士		
	6	病院主催 バーベキュー大会		
	14~15	お盆休み		
	15~26	看護部勉強会『人工呼吸器の取り扱いについて』		
	16~30	研修医受入(愛媛大学1名)		
	19	東京大学 体験活動プログラム参加者5名来院(西之表市経済観光課企画)		
20	看護協会主催 教育研修会『キャリア開発～仕事にやりがいをも～』 講師:川内市医師会立 川内看護専門学校 全日制開設準備室 室長 前野 かつ子先生			
21	第47回種子島鉄砲祭り 手踊り参加(64名)			
29~9/1	鹿児島県地域枠医学生離島実習(鹿児島大学4名、根路銘准教授)			

年	月	日	内 容	
平成 28 年	9	9	『種子島VTEカンファレンス』総合座長:田上 寛容先生 講演 I「下肢静脈血栓症の診断と治療」 鹿児島大学大学院心臓血管・高血圧内科学助教 窪田 琢郎先生 講演 II「激変する循環器診療～SPRINT・EMPA-REG・KAGOSHIMA～」 鹿児島大学大学院心臓血管・高血圧内科学教授 大石 充先生	
		20	退職記念講演会 ①CKD(慢性腎臓病)について:内科医師 上田 博章先生 ②整形外科のおもしろさ～将来の夢(小児整形外科)～:整形外科医師 城光寺 豪先生	
		21	医師歓迎会(ホテルニュー種子島)	
		26	CPC(臨床病理検討会) 病理指導:鹿児島大学医歯学総合研究科 分子細胞病理学 教授 谷本 昭英先生 症例発表:「急速に進行した劇症型肺炎球菌感染症の一例」総合診療科 部長 松本 松登先生	
		26～30	職員健診	
		27～29	種子島高校2年生就業体験学習(看護部3名)	
		29	(独)高齢・障害者求職者雇用支援機構 障害者雇用納付金関係業務調査	
		30	年報誌「飛魚」第27号発刊	
		30	看護部研修会『より良いコミュニケーションの取り方』 講師:A-cube(株) 代表取締役会長 立元昭子先生	
		10	3～29	研修医受入(東京女子医科大学1名)
			7	消化器がん化学療法セミナーin種子島 【一般講演】『チーム医療における看護師の役割』 演者:福岡県済生会福岡総合病院 看護部 がん化学療法看護認定看護師 外来課長 中村 文美先生 【特別講演】『大腸がん薬物療法の現状』 演者:福岡県済生会福岡総合病院 外科部長 兼 がん化学療法部長 江見 泰徳先生
			12	秋の大運動会:3階東・4階病棟
	15		種子島医療センター杯種子島鉄砲ゲートボール大会(西之表市営グラウンド)	
	18		DMAT隊 平成28年度集団災害救急事故訓練(高速船事故)	
	20,21		院内感染勉強会『院内感染について【細菌(緑膿菌)、結核菌～ノロウイルス】』 講師: BML 下嶋様	
	22		第2回救急医療講話 (西之表市保健センター すこやか) 「気をつけよう!エコノミークラス症候群」講師:循環器内科部長 北園 和成先生	
	27		鹿児島県議会環境厚生委員会の行政視察	
	28		院内講演会 ①『がんとともに生きる』 NPO法人がんサポートかごしま理事長ピアサポーター 三好 綾様 ②『鹿児島大学病院と当センターとの連携について』 鹿児島大学病院相談支援部門長 道園 久美子先生 ③『鹿児島県がん相談支援センター部門会の役割と活動紹介』 鹿児島大学病院 看護師 田畑 真由美様	
	11		1	「へいじろう」2016秋 第39号発刊
			1～14	ストレスチェック実施
			5	看護適職フェア出展:大阪
		5,6	平成28年九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練(長崎県島原)	
		9	看護部伝達講習会『重症度医療看護必要度Ⅱ』 小川智浩 園田満治	
		12	「さつまいもと健康の話」講演会(西之表市民会館) 講師:文教大学健康栄養学部管理栄養学科 教授 笠岡 誠一先生	
		15	DMAT隊 種子島航空機事故対処訓練	
		16	医療法に基づく立入検査	
		17	リハビリテーション室勉強会『脳卒中後の痙縮に対するボトックス治療について』 講師:グラクソ・スミスクライン(株) 下釜様	
		18	医療安全研修会『造影剤のリスクマネジメント』 画像診断室	
		24	看護部勉強会『パーキンソン病について』 神経内科医師 松本 松登先生	
		25	緩和ケア講演会 ①『エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護』 今村病院緩和ケア病棟師長 がん認定看護師 中窪 尊子先生 ②『フットケア～シャボンラッピングの実際～』 今村病院緩和ケア病棟 フットケア認定資格 今井 朋子先生	
	30	医療安全研修会 講師:高尾病院長 第1回「医療安全を支える知識と意識～医療事故調査報告制度施行後1年の動向より～」		
	30	種子島糖尿病セミナー 【一般講演】『種子島医療センターにおける糖尿病治療の現状』 演者:田上 寛容先生 【特別講演】『高齢化を見据えた糖尿病治療』 演者:鹿児島大学大学院医歯学総合研究科糖尿病・内分泌内科学 教授 西尾 善彦先生		
	12	1	看護部伝達講習会『抗がん剤曝露対策～看護師の立場から～』 講師:外来師長 山之内 信	
		1～30	研修医受入(鹿児島大学1名) がん化学療法講演会in種子島 ①『がん化学療法のチーム医療について～副作用対策を中心に～』 松山赤十字病院 臨床腫瘍科 部長 白石 猛先生	

年	月	日	内 容
平成 28 年	12		②『がん化学療法について看護師、医師事務作業補助者の立場から』 松山赤十字病院 がん診療推進室 看護係長 山口 育子先生・医師事務作業補助者 井上 尚子先生
		14	イルミネーション点灯
		16	病院忘年会
		21	種子島産婦人科医院 看護師2名、腹腔鏡下Ope見学
		22	院内保育園児 クリスマス会
		24	西之表基督協会クリスマスキャロル
		30	仕事納め
平成 29 年	1	4	仕事始め
		10	看護研究プレ発表会
			①『離島における地域包括ケア病棟の役割』丸野嘉行
			②『回復期リハビリテーション病棟におけるナースコールの実態と患者の意識調査』三山靖迪
		10	看護部伝達講習会
			『医療安全管理者研修報告会』平山靖子 榎本親子
		17	医療安全研修会
			『リハビリテーションと医療安全～患者となった理学療法士の日線から～』早川亜津子
		21	第1回 種子島医療センター病院祭 開催(西之表市民会館)
		24～26	種子島中学校1年生6名職場体験学習
	26	西之表市長・市議会議員 不在者投票(入院患者様)	
	31	医療安全研修会 講師:高尾病院長	
		第2回『医療安全を支える知識と意識～医療事故調査報告制度施行後1年の動向より～』	
	31	院内保育所立入調査	
	31	鹿児島労働基準局立入調査	
	2	1	「へいじろう」2017冬 第40号発刊
		1	種子島産婦人科医院看護師2名ope見学
		2,3	院内感染勉強会『呼吸器感染症の主な原因とイムノクロマト法を用いた迅速診断』講師:タウンズ様
		8	医療安全研修会『麻薬の取り扱いについて』講師:大鵬薬品様
		8	種子島産婦人科医院看護師2名ope見学
		15	看護部勉強会『糖尿病と慢性腎臓病について』腎臓内科 春田 隆秀先生
22		病理解剖2例目	
23		第25回 介護・看護研究発表会	
		【介護研究の部】	
		①『おむつ使用方法の見直し』上妻芳江	
		②『体位交換を体験して感じたこと』山口保美	
	③『オムツ交換パターンの見直し～患者様負担軽減を試みて～』倉橋香		
	④『キ ャッチャップ によるマットレスのズレ対策～足元クッションを利用して～』濱尾優子		
	【看護研究の部】		
	①『内視鏡検査問診票改善を試みて』荒木敦		
	②『弾性スッキングの皮膚トラブル』を指して～アンケート調査に基づくケアの実態～』日高亜登夢		
	③『臨床現場におけるエンベ ルグの実態と意識変化』園山愛美		
23	第2回社員総会・理事会(ホテル種子島)		
27	医療安全研修会『医療版失敗学の導入事例から学ぶ医療安全』 講師:野尻中央病院経営統括部長 三好 彰範先生		
27～3/3	職員健診(夜勤帯勤務者対象)		
28	第2回リハビリテーション室研究発表会 荒木潮彦、中村舞、大橋みなみ、八嶋真、大津留麻子、大坪正拓、中原慎次朗		
3	7	東京大学 体験活動プログラム参加者4名来院(西之表市経済観光課企画)	
	10	医療安全研修会『K Y T 概論～危険予知トレーニング～』 講師:(株)テルモ鹿児島チーム医療情報チームリーダー 大島 敏裕先生	
	13～17	医学生実習(鹿児島大学3名)	
	13～18	皮膚排泄ケア認定看護師1名鹿児島大学病院より派遣	
	14	看護部講演会『めざせ！漏れないストーマケア』 講師:鹿児島大学病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 竹原 沙織先生	
	15	陽子線治療 院内説明会 講師:メディボリス国際陽子線治療センター 有村 健先生	
	19	西之表市長選挙・再選挙 不在者投票(入院患者様)	
	23	看護部伝達講習会『認知症ケアについて』 講師:能野明美 迫田かおり 田中優子 平原景子	
	27～31	医学生実習(鹿児島大学3名)	
	28	種子島産婦人科医院看護師2名ope見学	
29	記念講演会～わらび苑施設長就任を祝って～ 『目指せ医者！教育と受験勉強』へき地医療センター長 猿渡 邦彦先生		
30	第3回社員総会・理事会(本院4階会議室)		

実績 (平成 24 年度～平成 28 年度)

種子島医療センター

へき地医療センター

田上診療所

わらび苑

種子島医療センター

種子島医療センター実績

診療部門

外科

手術件数

(件)

外科症例	233		209		183		153	
------	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

麻酔別

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全麻症例	73	73	79	62
全身麻酔+硬膜外麻酔例	75	43	32	25
腰椎麻酔例	2	5	6	2
局麻酔例	83	88	66	64
総件数	233	209	183	153

疾患別

上部消化管疾患								
胃癌	8		7		5		12	(1)
胃穿孔	0		1		0		1	(1)
小腸	0		0		0		1	
下部消化管疾患								
結腸癌	13	(4)	11	(1)	15	(5)	15	(6)
直腸癌	9	(2)	11	(1)	8	(1)	1	(1)
人工肛門造設	3		5		5		3	
結腸穿孔	1		0		1		1	
直腸穿孔	0		0		0		0	
急性虫垂炎	17	(15)	13	(13)	16	(13)	13	(13)
痔核・肛門ポリープ	5		6		9		2	
肝・胆・膵疾患								
胆のう結石・胆のうポリープ	15	(14)	18	(17)	13	(13)	15	(15)
総胆管結石	0		0		0		0	
ヘルニア								
鼠径ヘルニア	30	(1)	22		22	(13)	12	(4)
大腿ヘルニア	6		4		1		1	
閉鎖孔ヘルニア	0		2		0		1	
腹壁癒痕ヘルニア	2		2		2		0	
その他の外科疾患								
甲状腺腫瘍	1		0		0		0	
乳腺腫瘍	6		2		1		0	

局所麻酔症例

PEG	37		42		20		18	
その他	46		46		46		46	

婦人科疾患

卵巣嚢腫	11		6		2		0	
子宮筋腫	8		6		1		0	
子宮外妊娠	0		0		0		0	
子宮頸癌	0		0		0		0	
子宮脱	1		2		0		0	
卵巣茎捻転	0		0		0		2	

()は鏡視下手術

診療部門

H28年度外科手術

全身麻酔

性別	病名	術式	件数
男性	胆のう結石症	腹腔鏡下胆嚢摘出術	15
男性	右臬径ヘルニア	ヘルニア手術5.鼠径ヘルニア	10
男性	急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術(膿瘍 伴わない)	10
男性	左臬径ヘルニア	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	4
女性	右卵巣茎捻転	子宮付属器腫瘍摘出術(両側)2.腹腔によるもの	2
男性	小腸穿孔	腹腔鏡下小腸切除術(悪性腫瘍手術以外の切除術)	2
男性	急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術(膿瘍 伴う)	2
女性	左乳癌	1.単純乳房切除術・乳腺悪性腫瘍	1
女性	左乳癌	5.乳房切除術・胸筋切除を併施しない	1
男性	膣体部癌	胃腸吻合術(フ라운吻合を含む)	1
男性	胃穿孔	胃縫合術(大網充填術又は被覆術を含む)	1
男性	経口摂取困難	胃瘻造設術	1
男性	慢性閉塞性肺疾患	気管切開術	1
男性	横行結腸癌	結腸切除術2.結腸半側切除	1
男性	術後腹腔内出血	試験開腹術	1
女性	内痔核	痔核手術(脱肛を含む)1.硬化療法	1
男性	小腸穿孔	小腸切除術1.悪性腫瘍手術以外の切除術)	1
男性	閉塞性イレウス・直腸癌	人工肛門造設術	1
男性	上行結腸癌	腸吻合術	1
男性	腹壁癒痕ヘルニア術後再発	腹腔鏡下ヘルニア手術(腹壁癒痕ヘルニア)	1
男性	S状結腸癌	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	1
男性	絞扼性イレウス	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	1
男性	急性胃潰瘍穿孔・穿孔性腹腔内膿瘍	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	1
女性	卵巣茎捻転の疑い	卵巣部分切除術(腔式を含む)2.腹腔鏡によるもの	1

全身麻酔+硬膜外麻酔

性別	病名	術式	件数
男性	S状結腸癌	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	5
男性	上行結腸癌	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	4
男性	胃体部癌	胃切除術2.悪性腫瘍手術	2
男性	胃体部癌	胃腸吻合術(フ라운吻合を含む)	2
男性	大腸癌	腹腔鏡下直腸切除・切断術(低位前方切除術)	2
男性	下行結腸癌	人工肛門造設術	2
女性	左閉鎖孔ヘルニア	ヘルニア手術8.骨盤部ヘルニア(閉鎖孔ヘルニア)	1
女性	胃粘膜下腫瘍	胃局所切除術	1
女性	胃癌	胃全摘-悪性	1
女性	穿孔性腹膜炎	急性汎発性腹膜炎手術	1
男性	亜急性化膿性虫垂炎・虫垂周囲膿瘍	結腸切除術1.小範囲切除	1
男性	上行結腸癌	結腸切除術2.結腸半側切除	1
男性	胃体部癌	腹腔鏡下胃切除術2.悪性腫瘍手術	1
女性	急性虫垂炎	腹腔鏡下虫垂切除術(膿瘍 伴う)	1

腰椎麻酔

性別	病名	術式	件数
男性	肛門周囲膿瘍	肛門周囲膿瘍切開術	1
男性	脱出性内痔核	痔核手術(脱肛を含む)1.硬化療法	1

局所麻酔

性別	病名	術式	件数
男性	殿部類皮のう胞	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露外)3-6cm未満	16
男性	膣頭部癌	設置3.頭頸部その他に設置抗悪性腫	9
男性	頸部脂肪腫	皮膚、皮下腫瘍摘出(露出部)2-4cm未満	4
女性	背部粉瘤	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露外)3cm未満	4
女性	上行結腸癌の術後	抗悪性腫瘍剤カテーテル	3
男性	悪性リンパ腫の疑い	リンパ節摘出術1.長径3cm未満	2
女性	食道胃接合部癌	頭頸部・中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	2
男性	左腋窩脂肪腫	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露外)6cm以上	2
女性	悪性リンパ腫	リンパ管腫摘出術1.長径5cm未満	1
男性	急性肺炎	気管切開術	1
男性	後頸部粉瘤	皮膚、皮下腫瘍摘出(露出部)4cm以上	1
男性	直腸肛門周囲膿瘍	肛門周囲膿瘍切開術	1

※他胃瘻18件

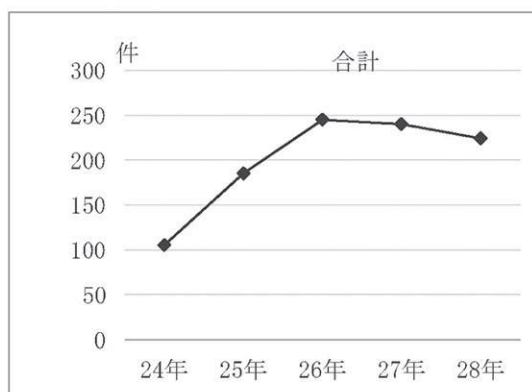
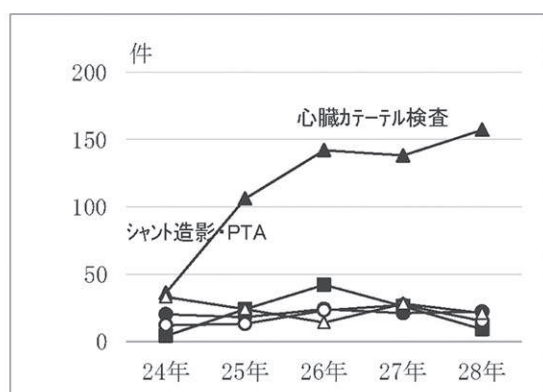
診療部門

循環器内科

手術, 検査件数

(件)

年度	24年	25年	26年	27年	28年
ペースメーカー移植・交換術	20	18	24	21	22
心臓カテーテル検査	36	106	142	138	157
経皮的冠動脈形成術	4	24	42	26	9
シャント造設術	12	13	23	27	15
シャント造影・PTA	33	24	14	28	21
合計	105	185	245	240	224



- 経皮的冠動脈形成術
- ペースメーカー移植・交換術
- シャント造設術

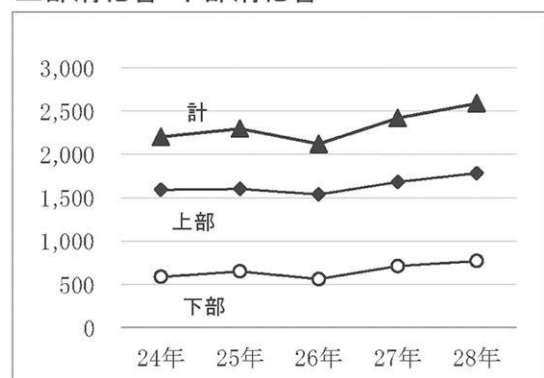
消化器内科

内視鏡検査

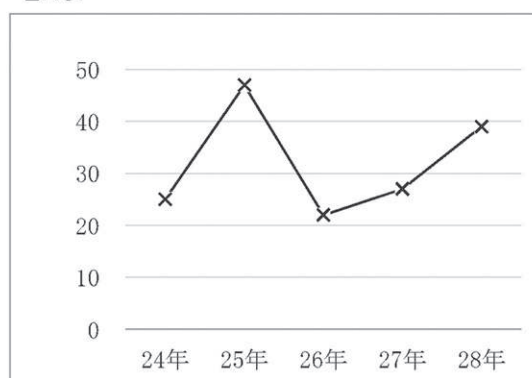
(件)

年度	上部消化管	下部消化管	ERCP	計
24年	1,591	586	25	2,202
25年	1,602	648	47	2,297
26年	1,539	559	22	2,120
27年	1,682	710	27	2,419
28年	1,783	768	39	2,590

上部消化管・下部消化管



ERCP



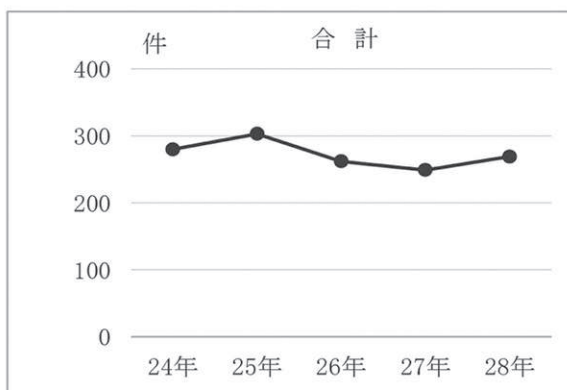
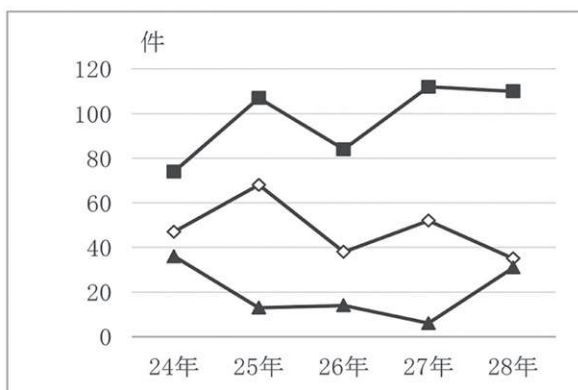
診療部門

整形外科

手術件数

(件)

年度	上肢骨折	下肢骨折	人工関節	脊椎	その他	合計
24年	47	74	36	5	118	280
25年	68	107	13	15	100	303
26年	38	84	14	23	103	262
27年	52	112	6	3	76	249
28年	35	110	31	1	92	269



◇ 上肢骨折 ■ 下肢骨折 ▲ 人工関節

脳神経外科

手術件数

(件)

手術項目		24年	25年	26年	27年	28年	
開頭術	脳腫瘍	0	0	0	0	0	
	脳動脈瘤	クリッピング(破裂)	7	6	4	2	0
		クリッピング(未破裂)	0	4	0	0	0
	血管吻合術	0	1	0	0	0	
	開頭血腫除去術	脳内血腫	4	9	1	1	1
		硬膜下血腫	1	1	0	1	0
硬膜外血腫		0	1	1	0	0	
穿頭術	硬膜下血(水)腫洗浄術	12	15	11	5	10	
	脳室ドレナージ	2	5	1	1	0	
	その他	1	2	0	3	0	
短絡術	脳室腹腔シャント	1	3	0	0	0	
	その他	4	0	0	0	0	
定位脳手術	定位的血腫吸引術	0	0	0	0	0	
頭蓋骨形成術		1	1	0	0	0	
血管内手術	脳動脈瘤(コイル塞栓術)	1	4	1	3	1	
	血管形成術(ステント)	3	0	0	3	7	
その他		1	4	6	0	5	
合計		38	56	25	19	24	

診療部門

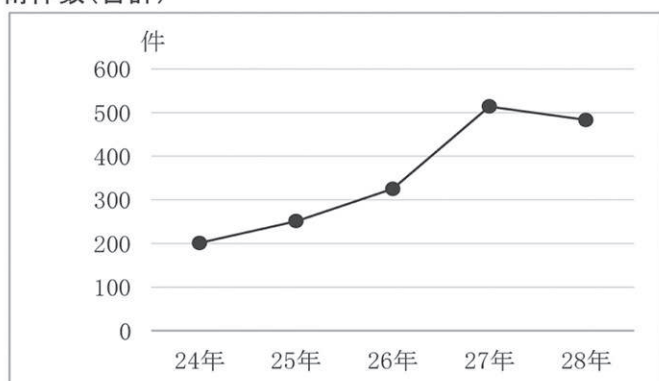
眼科

手術件数

(件)

年度	白内障	翼状片	硝子体	その他	合計
24年	176	17	7	1	201
25年	231	11	4	5	251
26年	287	18	3	17	325
27年	438	37	27	12	514
28年	440	16	21	6	483

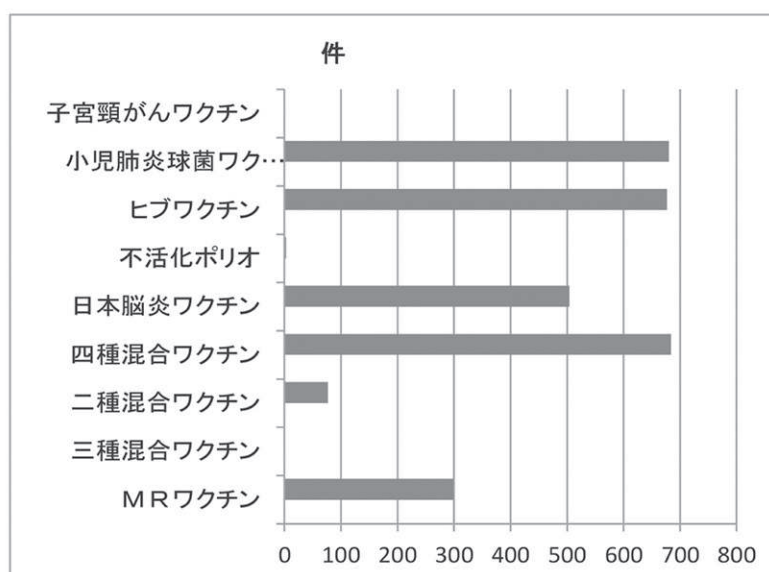
手術件数(合計)



小児科

予防接種件数 (平成28年度)

ワクチン名	件数
MRワクチン	299
三種混合ワクチン	0
二種混合ワクチン	77
四種混合ワクチン	684
日本脳炎ワクチン	504
不活化ポリオ	3
ヒブワクチン	677
小児肺炎球菌ワクチン	680
子宮頸がんワクチン	0
合計	2,924

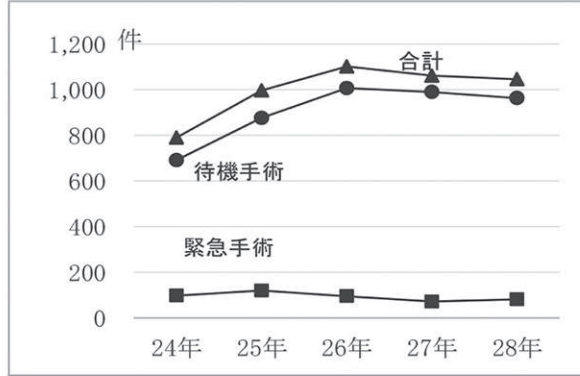


診療部門

中央手術部門

手術件数 (件)

年度	待機手術	緊急手術	合計
24年	691	98	789
25年	876	120	996
26年	1,006	95	1,101
27年	989	72	1,061
28年	963	82	1,045

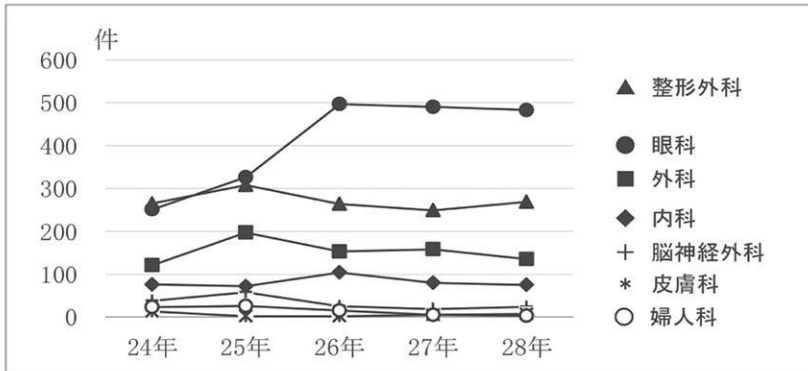


診療科別手術件数

(件)

年度	外科	整形外科	眼科	脳神経外科	内科	小児科	皮膚科	その他	婦人科	合計
24年	121	265	251	38	76	0	13	2	23	789
25年	197	308	326	58	72	0	2	7	26	996
26年	153	264	497	25	104	0	2	41	15	1,101
27年	158	249	490	19	80	0	5	55	5	1,061
28年	135	269	483	24	75	0	7	49	3	1,045

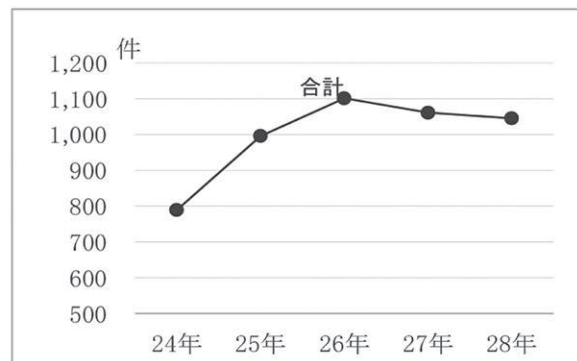
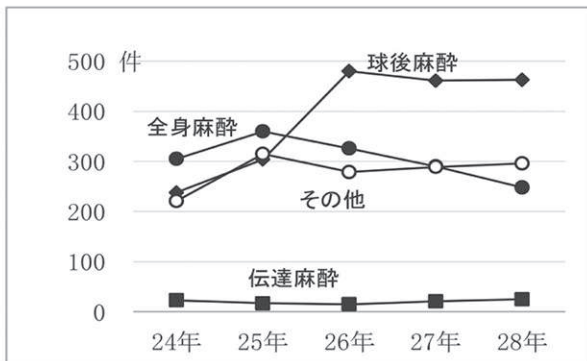
(注) 内科：心臓カテーテル手術等



麻酔別件数

(件)

年度	全身麻酔	硬膜外麻酔	伝達麻酔	球後麻酔	その他	合計
24年	305	2	23	238	221	789
25年	360	0	17	304	315	996
26年	326	1	15	480	279	1,101
27年	290	0	21	461	289	1,061
28年	248	13	25	463	296	1,045



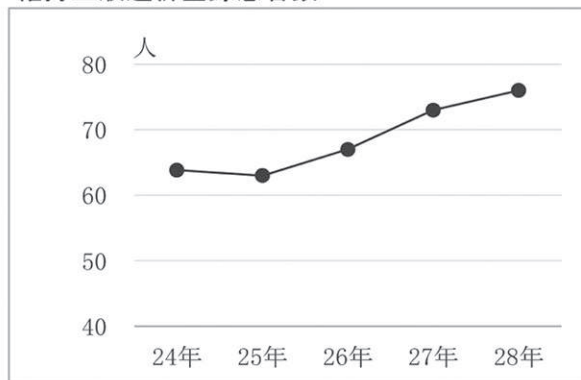
診療部門

人工透析部門

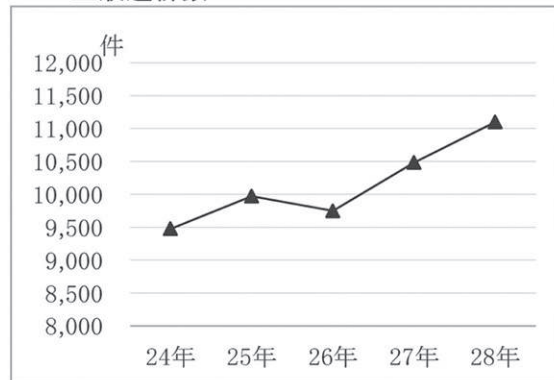
年度	血液透析		(件)	
	登録患者数 (人)	透析数 (件)	持続的血液 濾過透析	その他の 血液浄化法
24年	64	9,477	15	3
25年	63	9,972	21	25
26年	67	9,749	22	124
27年	73	10,483	10	264
28年	76	11,098	1	14

登録患者数：毎年4月1日時点の登録者数

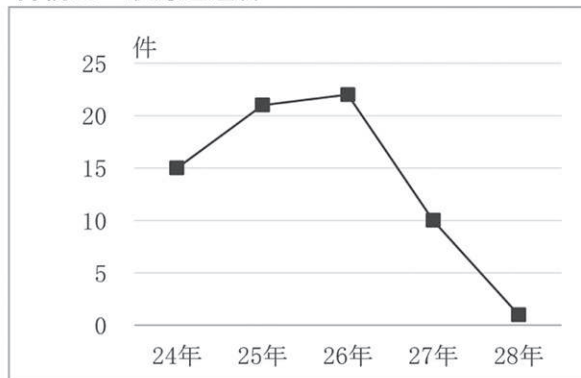
維持血液透析登録患者数



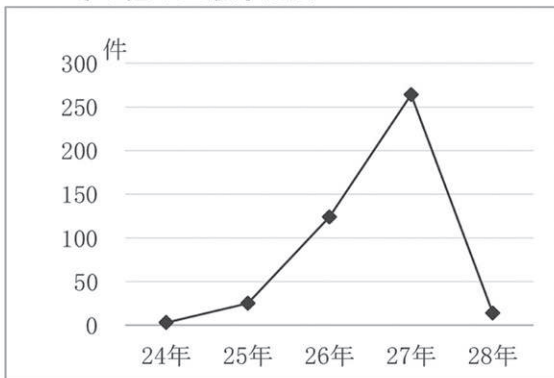
血液透析数



持続的血液濾過透析



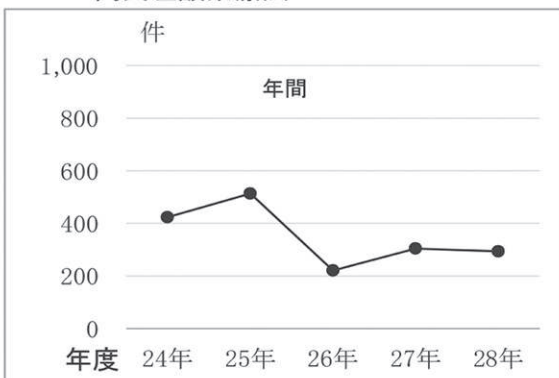
その他の血液浄化法



高気圧酸素療法

年度	(件)	
	月平均	年間
24年	35	423
25年	43	513
26年	18	221
27年	25	304
28年	24	293

高気圧酸素療法

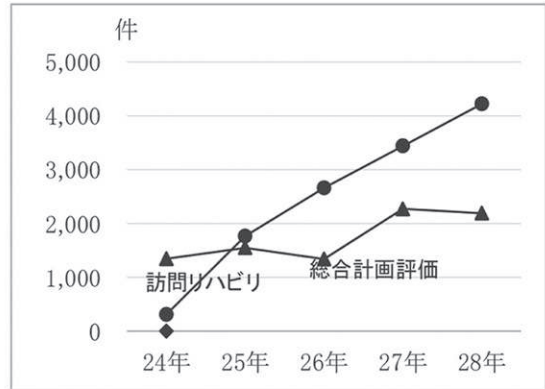
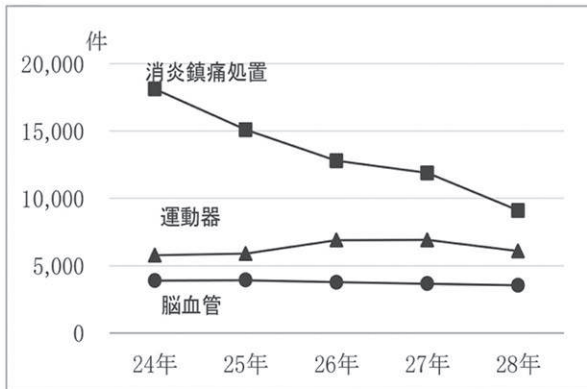


診療部門

リハビリテーション科

外来

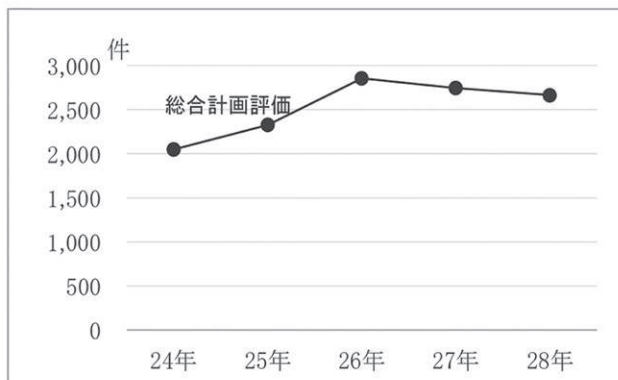
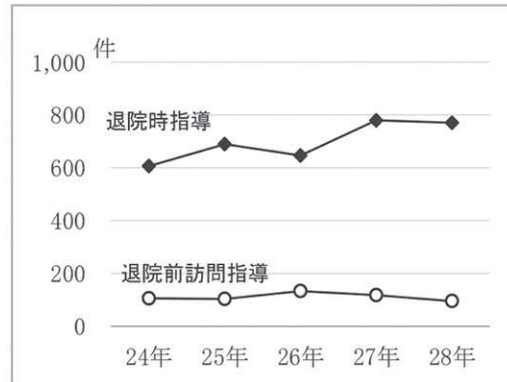
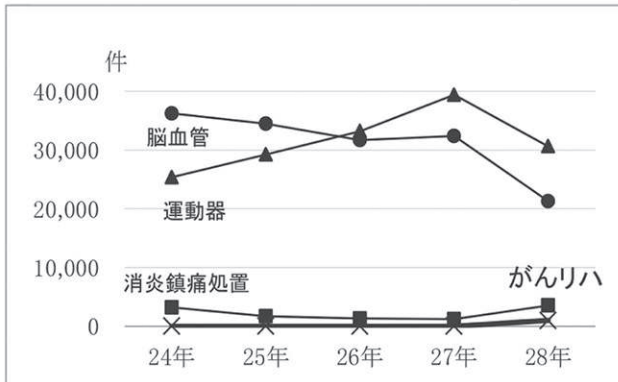
年度	(件)			(件)	
	脳血管	運動器	消炎鎮痛処置	訪問リハビリ	総合計画評価
24年	3,906	5,777	18,125	312	1,345
25年	3,931	5,898	15,097	1,767	1,549
26年	3,766	6,900	12,802	2,663	1,340
27年	3,668	6,916	11,881	3,440	2,272
28年	3,535	6,095	9,105	4,220	2,190



※ 訪問リハビリ件数: 24年までは、医療保険件数のみ。25年から医療保険件数 + 介護保険件数に変更。

入院

年度	(件)				(件)		
	脳血管	運動器	消炎鎮痛処置	がんリハ	退院時指導	退院前訪問指導	総合計画評価
24年	36,263	25,392	3,181	0	606	106	2,049
25年	34,481	29,247	1,685	0	689	103	2,327
26年	31,696	33,226	1,303	0	646	133	2,855
27年	32,383	39,414	1,187	0	779	118	2,746
28年	21,295	30,633	3,534	978	770	95	2,664



診療部門

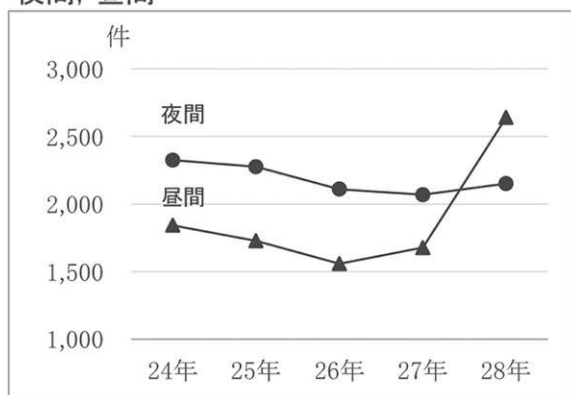
時間外診療（救急外来）

受診数

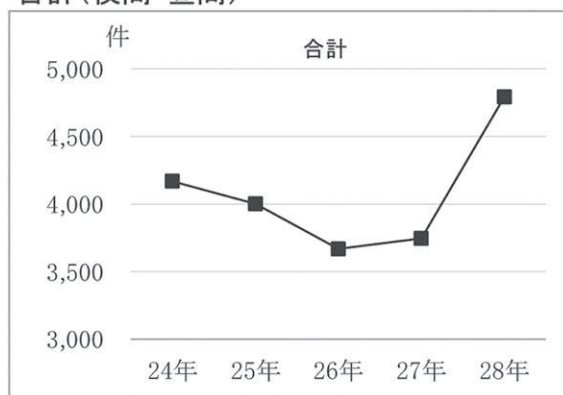
年度	夜間	昼間	合計
24年	2,325	1,843	4,168
25年	2,275	1,727	4,002
26年	2,110	1,558	3,668
27年	2,069	1,677	3,746
28年	2,151	2,642	4,793

救急車搬入	救急外来からの入院	へり搬送
1,044	448	15
1,039	509	19
1,024	483	26
1,124	556	29
1,164	1,055	43

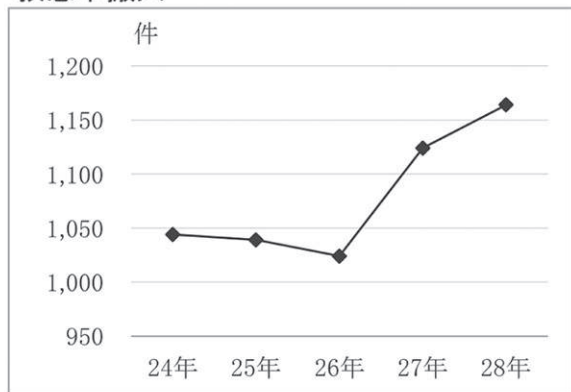
夜間、昼間



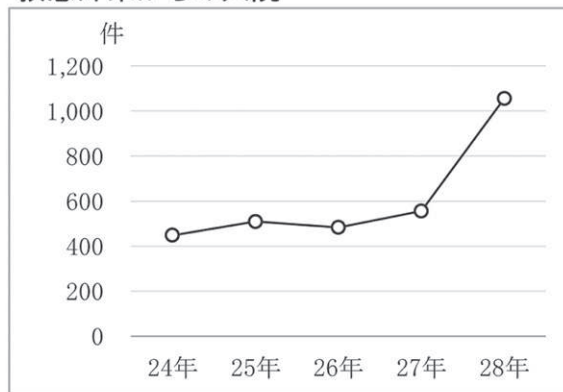
合計(夜間+昼間)



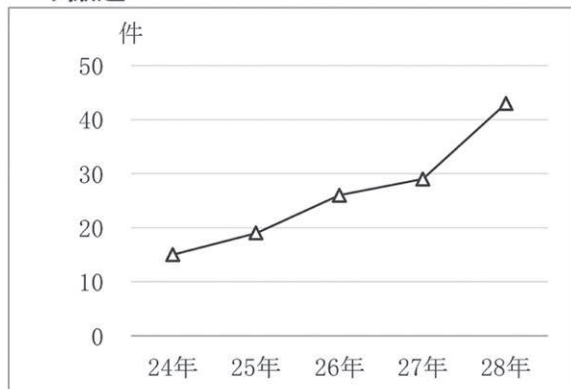
救急車搬入



救急外来からの入院



へり搬送



診療支援部門

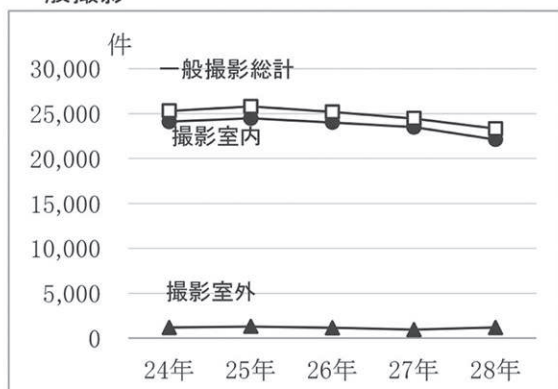
画像診断部門

一般撮影, その他

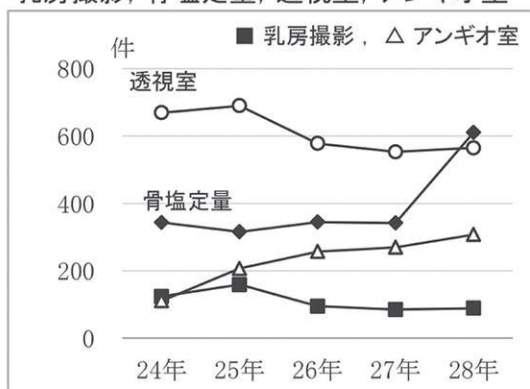
(件)

年度	一般撮影			乳房撮影	骨塩定量	透視室 使用回数	アンギオ室 使用回数
	撮影室内	撮影室外	総計				
24年	24,092	1,198	25,290	124	344	669	111
25年	24,472	1,313	25,785	159	316	690	207
26年	24,011	1,163	25,174	95	345	578	257
27年	23,486	964	24,450	85	342	553	270
28年	22,108	1,200	23,308	89	611	565	308

一般撮影



乳房撮影, 骨塩定量, 透視室, アンギオ室



CT検査

(件)

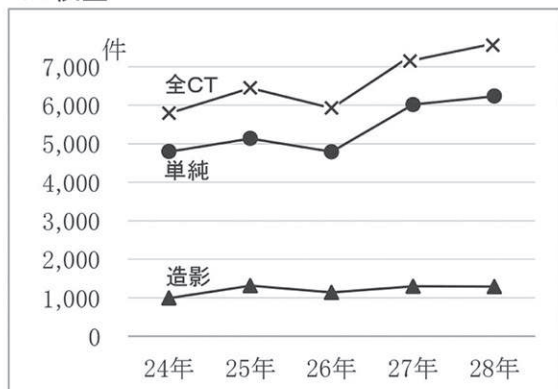
年度	単純CT			造影CT			全CT		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
24年	867	3,928	4,795	201	794	995	1,068	4,722	5,790
25年	1,137	3,998	5,135	238	1,074	1,312	1,375	5,072	6,447
26年	947	3,843	4,790	147	991	1,138	1,094	4,834	5,928
27年	1,201	4,818	6,019	247	1,051	1,298	1,448	5,869	7,317
28年	1,297	4,939	6,236	287	1,003	1,290	1,584	5,942	7,526

MR検査

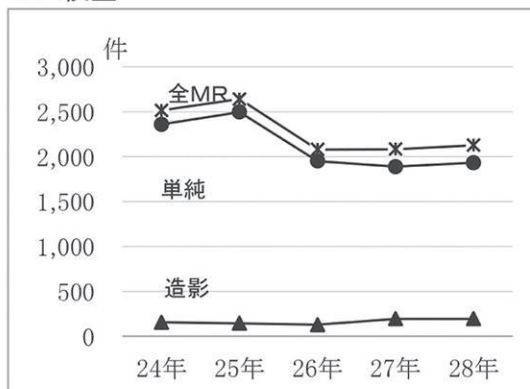
(件)

年度	単純MR			造影MR			全MR		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
24年	341	2,018	2,359	21	135	156	362	2,153	2,515
25年	489	2,006	2,495	16	128	144	505	2,134	2,639
26年	324	1,626	1,950	11	118	129	335	1,744	2,079
27年	335	1,552	1,887	31	165	196	366	1,717	2,083
28年	391	1,540	1,931	33	163	196	424	1,703	2,127

CT検査



MR検査



診療支援部門

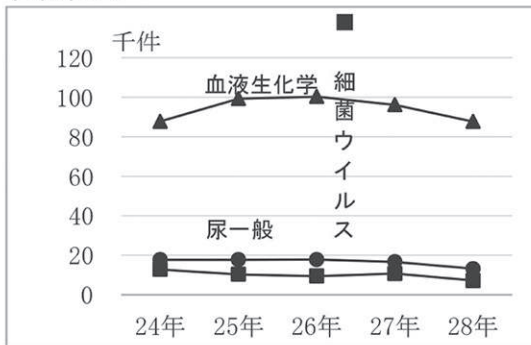
臨床検査部門

臨床検査件数

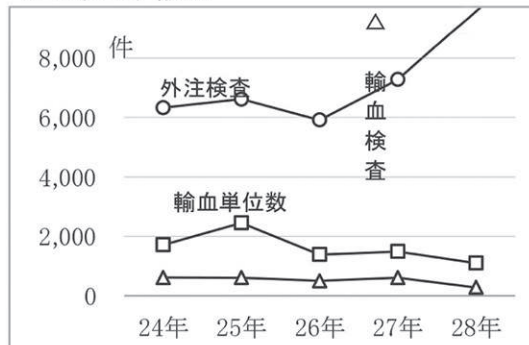
(件)

年度	検体検査				輸血	
	尿一般	血液生化学	細菌ウイルス	外注検査	輸血検査	輸血単位数
24年	17,734	87,799	12,844	6,324	613	1,717
25年	17,768	99,217	10,385	6,613	610	2,450
26年	17,860	100,305	9,418	5,911	501	1,390
27年	16,659	96,160	10,735	7,273	612	1,492
28年	13,214	87,666	7,192	9,609	284	1,100

検体検査



外注検査, 輸血



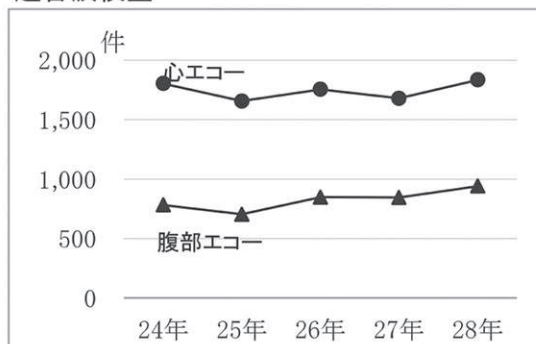
生理検査部門

生理検査件数

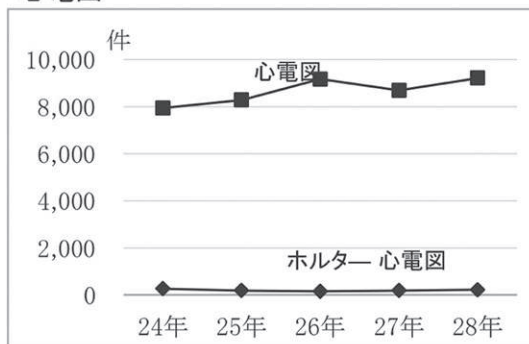
(件)

年度	超音波検査		心電図		その他の検査				
	心エコー	腹部エコー	心電図	ホルター心電図	脳波	血圧脈波 (ABI)	眼底カメラ	肺機能	聴力
24年	1,803	782	7,942	263	48	80	149	801	2,073
25年	1,655	704	8,281	184	59	139	118	736	2,022
26年	1,754	847	9,169	156	52	226	127	666	1,938
27年	1,679	844	8,689	189	48	286	95	754	1,632
28年	1,833	940	9,210	218	31	350	91	899	700

超音波検査



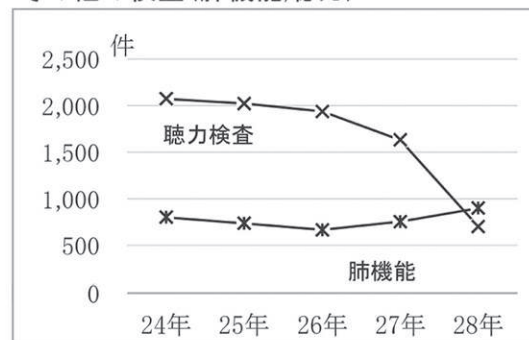
心電図



その他の検査 (脳波, 血圧脈波, 眼底)



その他の検査 (肺機能, 聴力)

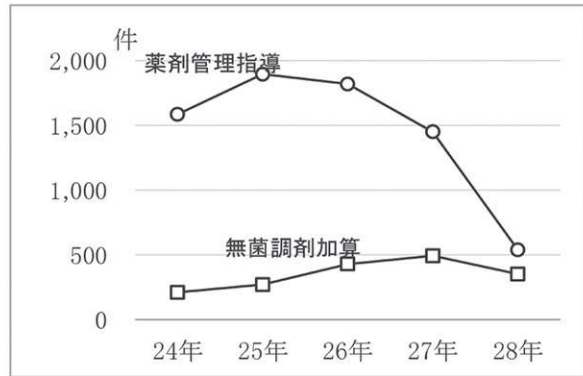
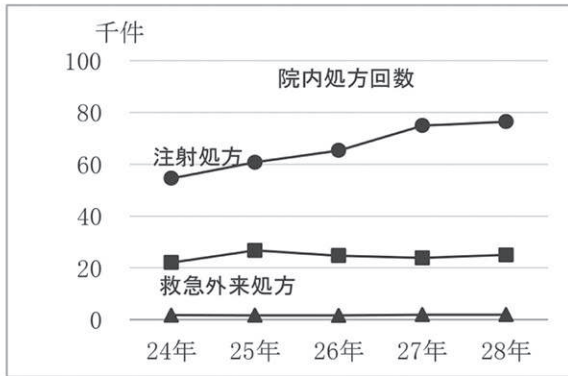


診療支援部門

薬剤部門

年度	処方に関するもの			薬剤管理指導	無菌調剤加算
	院内処方回数	救急外来処方	注射処方数		
24年	54,557	1,726	22,029	1,586	211
25年	60,763	1,655	26,735	1,896	271
26年	65,338	1,641	24,719	1,819	429
27年	74,920	1,920	23,819	1,450	493
28年	76,467	1,929	24,995	538	352

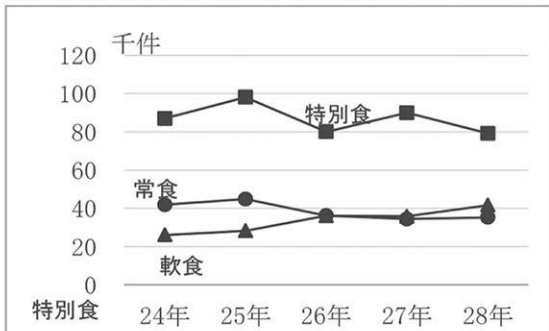
処方に関するもの



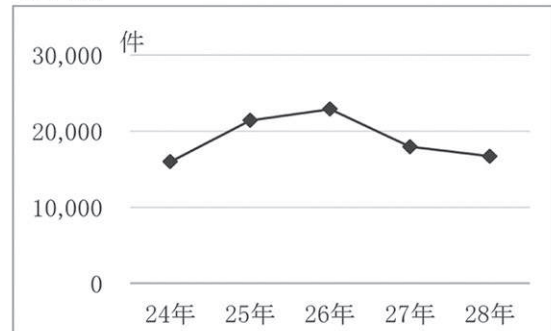
栄養給食部門

年度	経口食					経管食	栄養指導
	常食	軟食	流動食	特別食	合計		
24年	41,842	26,108	1,349	86,906	156,205	15,968	293
25年	44,835	28,284	1,383	98,080	172,582	21,400	397
26年	36,211	36,108	1,849	80,051	154,219	22,876	320
27年	34,392	35,787	1,026	89,855	161,060	17,939	188
28年	35,262	41,625	1,472	79,155	157,514	16,687	198

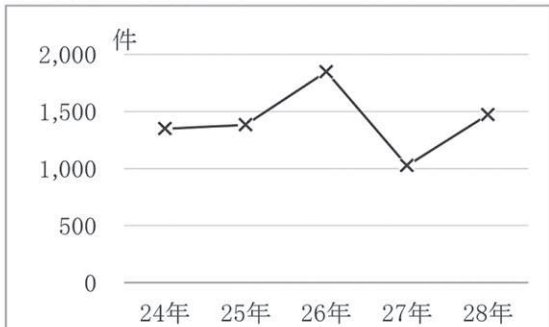
経口食(普通食, 軟食, 特別食)



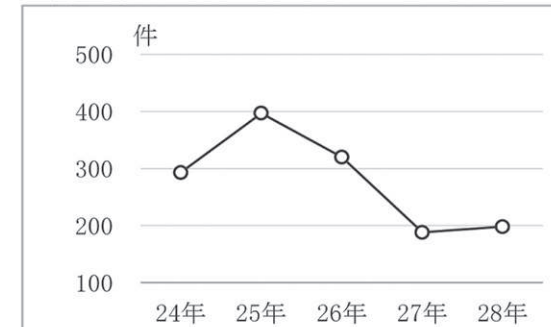
経管食



経口食(流動食)



栄養指導



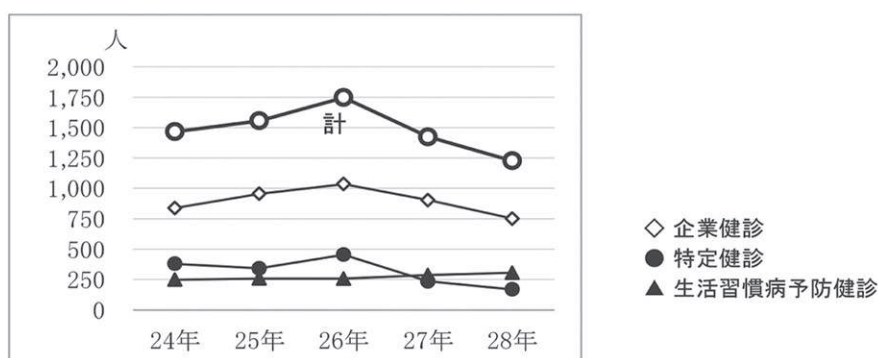
診療支援部門

健康診断部門

健康診断件数

(人)

年度	特定健診 (メタボ健診)	生活習慣病 予防健診	企業健診	計
24年	379	249	838	1,466
25年	342	258	956	1,556
26年	454	257	1,036	1,747
27年	235	286	903	1,424
28年	169	306	751	1,226



職員健診

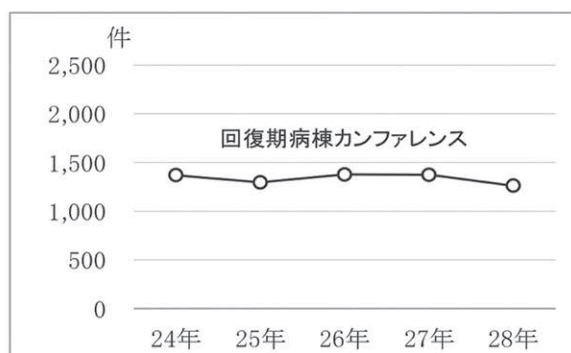
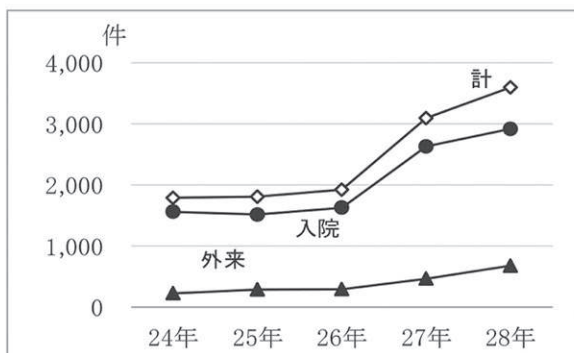
(人)

年度	種子島医療センター		わらび苑		田上診療所	
	2月	9月	2月	9月	2月	9月
26年	135	316	37	74	-	18
27年	145	322	39	72	-	15
28年	144	332	33	73	-	15

地域医療連携室

(件)

年度	相談件数			回復期病棟 カンファレンス
	入院	外来	計	
24年	1,562	227	1,789	1,369
25年	1,517	291	1,808	1,295
26年	1,629	295	1,924	1,377
27年	2,631	466	3,097	1,374
28年	2,919	680	3,599	1,261

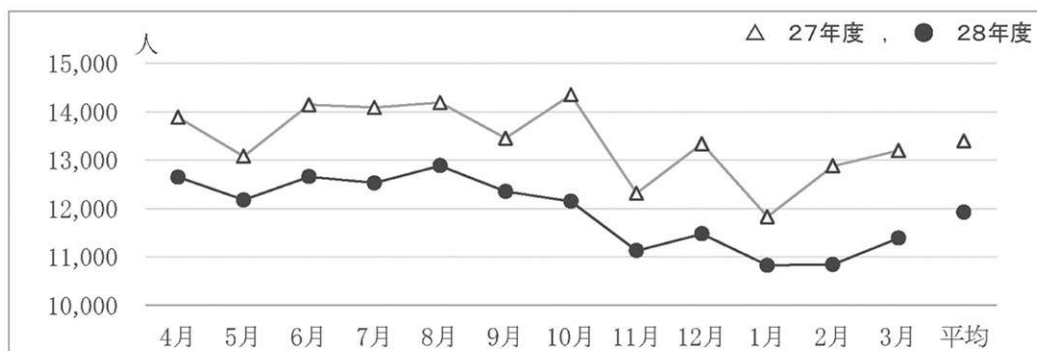


統計資料 2年間比較 (月別)

外来患者数 (月別総数)

(人)

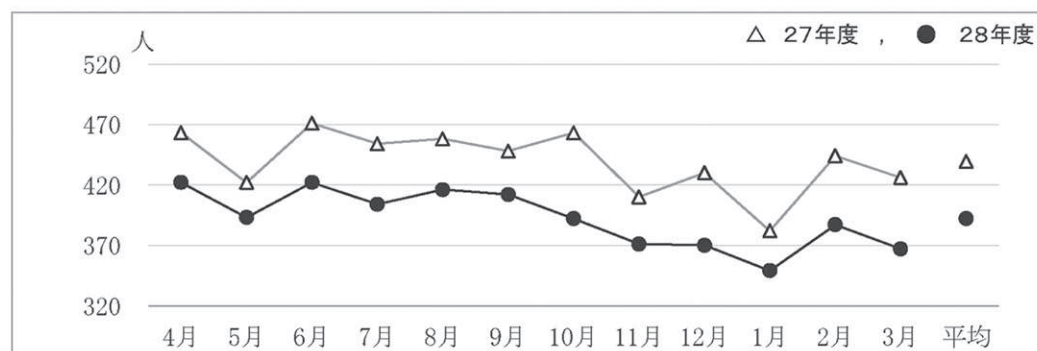
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
27年	13,881	13,076	14,140	14,085	14,185	13,451	14,345	12,312	13,336	11,830	12,876	13,194	13,393	160,711
28年	12,647	12,176	12,656	12,526	12,883	12,351	12,145	11,128	11,475	10,824	10,841	11,387	11,920	143,039
前年度比	-1,234	-900	-1,484	-1,559	-1,302	-1,100	-2,200	-1,184	-1,861	-1,006	-2,035	-1,807	-1,473	-17,672



外来患者数 (月別, 一日平均)

(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年	463	422	471	454	458	448	463	410	430	382	444	426	439
28年	422	393	422	404	416	412	392	371	370	349	387	367	392
前年度比	-41	-29	-49	-50	-42	-36	-71	-39	-60	-33	-57	-59	-47

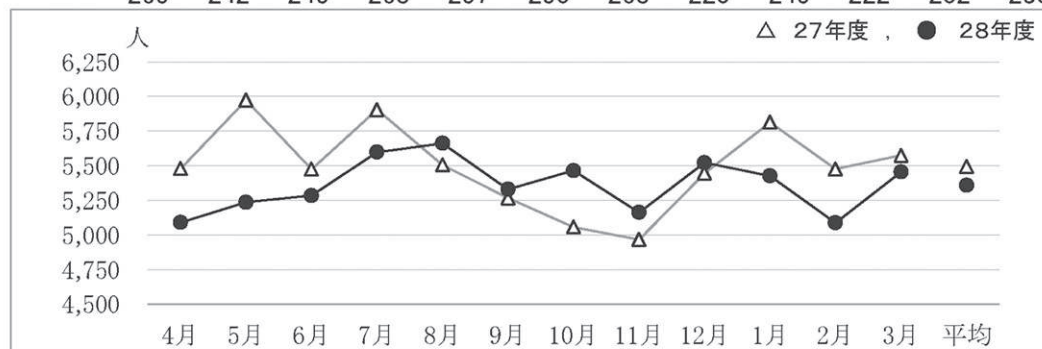


統計資料 2年間比較 (月別)

入院患者数 (月別総数)

(人)

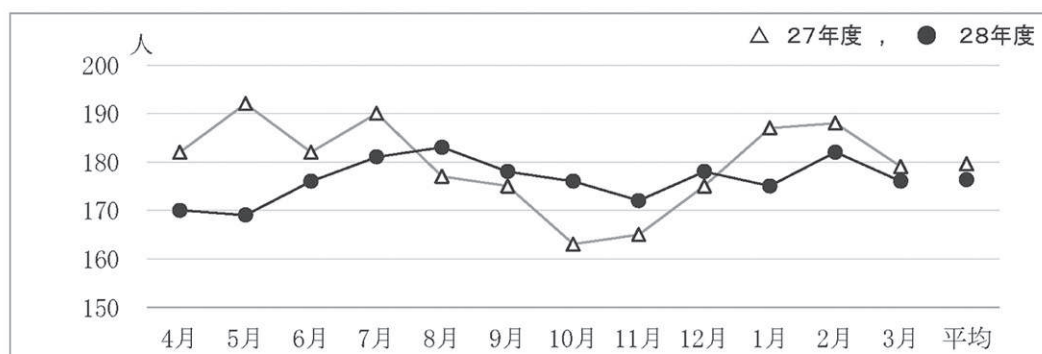
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
27年	5,478	5,973	5,473	5,903	5,504	5,265	5,056	4,965	5,445	5,812	5,475	5,573	5,494	65,922
28年	5,088	5,235	5,283	5,596	5,660	5,328	5,464	5,161	5,521	5,425	5,086	5,454	5,358	64,301
前年度比	-390	-738	-190	-307	156	63	408	196	76	-387	-389	-119	-135	-1,621
	265	242	245	268	257	250	268	220	245	222	202	230		



入院患者数 (月別)

(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年	182	192	182	190	177	175	163	165	175	187	188	179	180
28年	170	169	176	181	183	178	176	172	178	175	182	176	176
前年度比	-12	-23	-6	-9	6	3	13	7	3	-12	-6	-3	-3



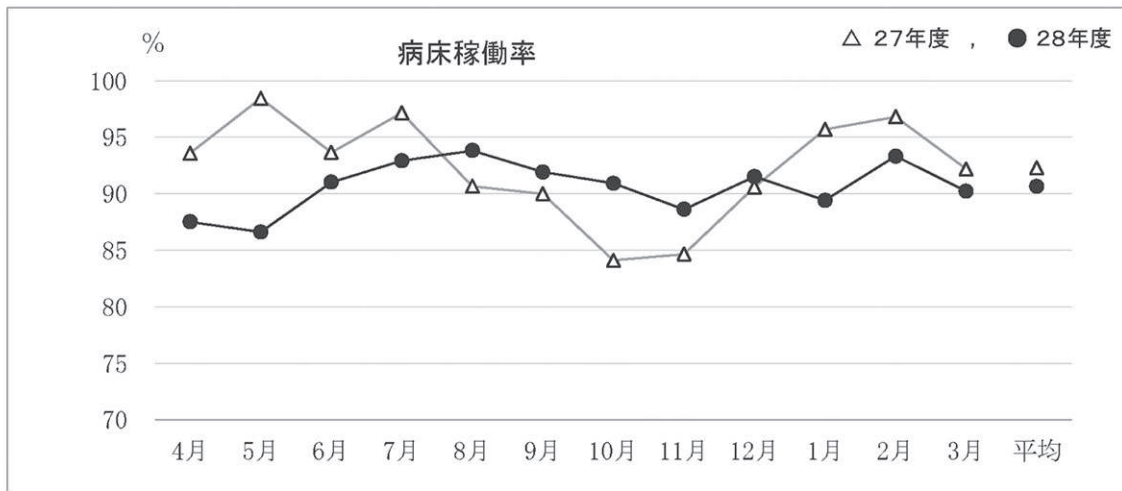
統計資料 2年間比較 (月別)

病床利用率と病床稼働率 (病床数204床)

月別

(%)

年度 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
27年	利用率	89.5	94.5	89.4	93.4	87.0	86.0	80.0	81.1	86.1	91.9	92.6	88.1	88.3
	稼働率	93.6	98.4	93.6	97.1	90.7	90.0	84.1	84.6	90.6	95.7	96.8	92.2	92.3
28年	利用率	83.1	82.8	86.3	88.5	89.5	87.1	86.4	84.3	87.3	85.8	89.0	86.2	86.4
	稼働率	87.5	86.6	91.0	92.9	93.8	91.9	90.9	88.6	91.5	89.4	93.3	90.2	90.6



病床利用率 = 【24時現在の患者数 (入院延べ患者数) ÷ (病床数 (204床) × (診療実日数)】

※ 24時現在で使用されている病床の割合 (月平均)

病床稼働率 = (【24時現在の患者数 (入院延べ患者数) + 退院患者数】 ÷ (病床数 (204床) × (診療実日数))

※ 24時現在で入院基本料を算定した病床の割合 (月平均)

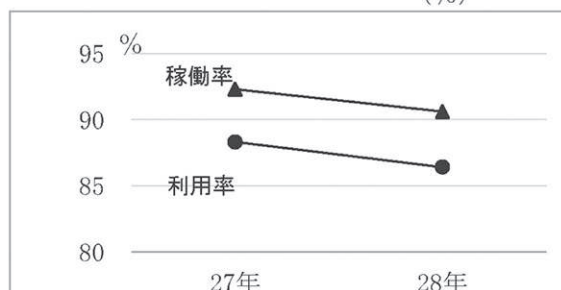
年度別

(%)

年度	利用率	稼働率
27年	88.3	92.3
28年	86.4	90.6

利用率 稼働率

(%)

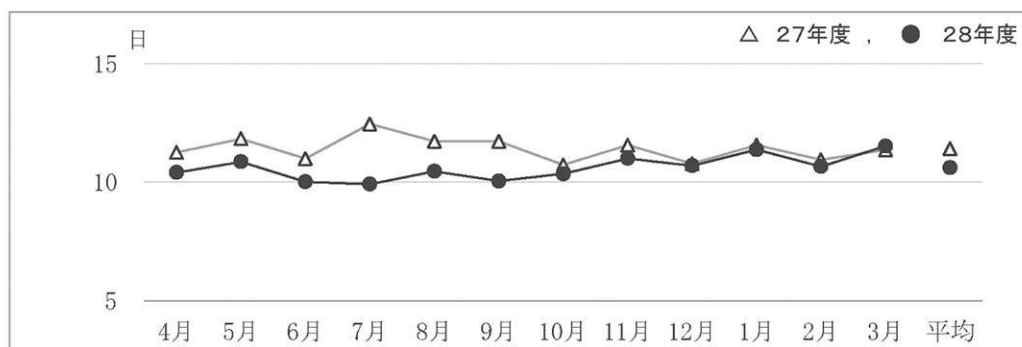


統計資料 2年間比較（月別）

平均在院日数（一般病棟）

（日）

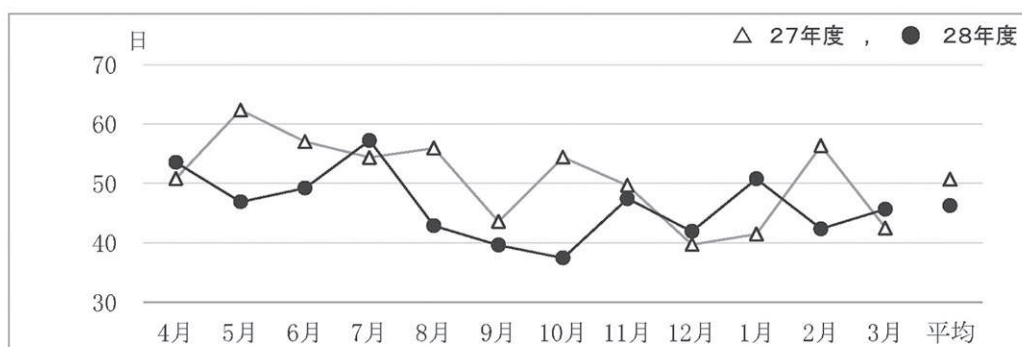
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年	11.3	11.8	11.0	12.4	11.7	11.7	10.7	11.6	10.8	11.6	10.9	11.4	11.4
28年	10.4	10.9	10.0	9.9	10.5	10.0	10.3	11.0	10.7	11.4	10.7	11.5	10.6
前年度比	-0.9	-1.0	-1.0	-2.5	-1.3	-1.7	-0.4	-0.6	-0.1	-0.2	-0.3	0.2	-0.8



平均在院日数（回復期リハビリ病棟）

（日）

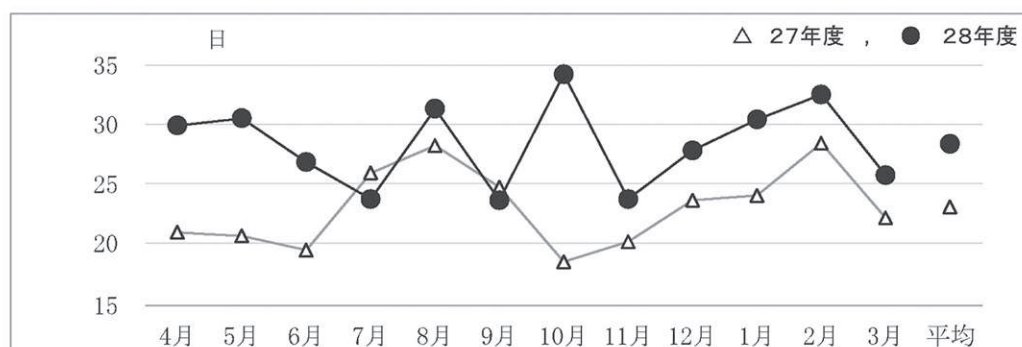
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年	50.8	62.3	57.0	54.3	55.9	43.6	54.4	49.6	39.7	41.4	56.3	42.5	50.7
28年	53.5	46.9	49.2	57.2	42.9	39.6	37.4	47.4	41.9	50.7	42.3	45.6	46.2
前年度比	2.7	-15.5	-7.8	2.9	-13.1	-4.0	-17.0	-2.3	2.2	9.3	-14.0	3.2	-4.4



平均在院日数（地域包括ケア病棟）

（日）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年	20.9	20.6	19.4	25.9	28.2	24.7	18.4	20.1	23.6	24.0	28.4	22.1	23.0
28年	29.9	30.5	26.8	23.7	31.3	23.6	34.2	23.7	27.8	30.4	32.5	25.7	28.3
前年度比	9.0	9.9	7.4	-2.2	3.1	-1.1	15.8	3.6	4.2	6.4	4.1	3.6	5.3



統計資料

一般病棟重症度・看護必要度

平成27年度 (%)

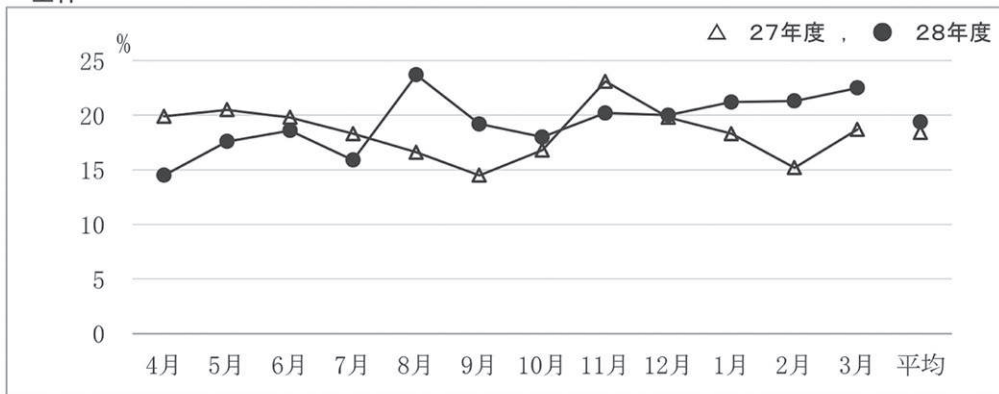
	2階	3西	3東	全体
4月	17.3	22.4	25.9	19.9
5月	22.1	19.1	25.1	20.5
6月	21.6	18.1	17.0	19.8
7月	19.4	17.2	12.2	18.3
8月	13.7	19.4	22.3	16.6
9月	14.9	14.5	16.2	14.5
10月	17.7	15.9	13.2	16.8
11月	27.0	19.3	14.7	23.1
12月	20.4	19.3	23.8	19.8
1月	18.8	17.8	23.4	18.3
2月	11.7	18.7	32.9	15.2
3月	21.1	15.6	28.0	18.7
平均	18.8	18.1	21.2	18.4

平成28年度 (%)

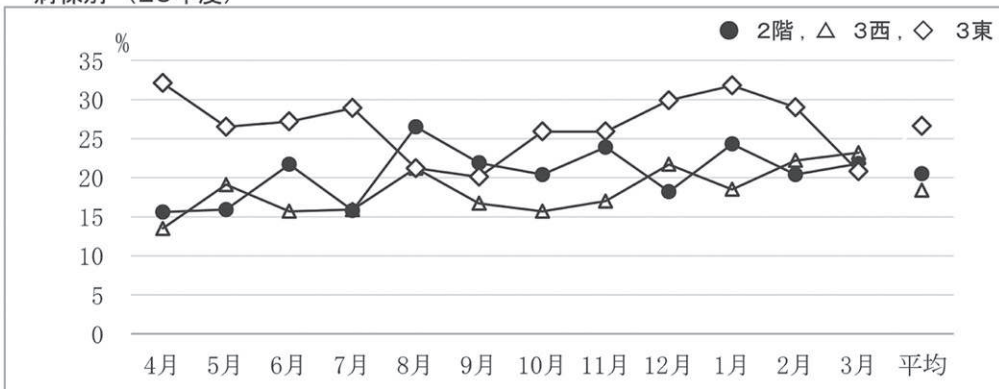
	2階	3西	3東	全体
4月	15.6	13.5	32.1	14.5
5月	15.9	19.1	26.5	17.6
6月	21.7	15.7	27.2	18.6
7月	15.8	15.9	28.9	15.9
8月	26.5	21.2	21.2	23.7
9月	21.9	16.7	20.1	19.2
10月	20.4	15.7	25.9	18.0
11月	23.9	17.0	25.9	20.2
12月	18.2	21.7	29.9	20.0
1月	24.3	18.5	31.8	21.2
2月	20.4	22.2	29.0	21.3
3月	21.8	23.2	20.8	22.5
平均	20.5	18.4	26.6	19.4

2階(外科・脳神経外科・整形外科・その他)
 3西(内科・眼科・小児科・その他)
 3東(27年1月より地域包括ケア病棟)

全体



病棟別 (28年度)



統計資料

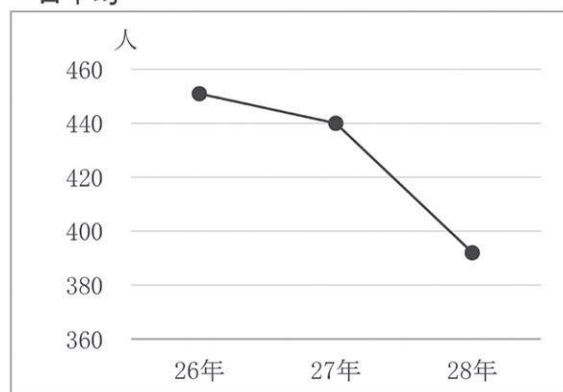
外来（年度別）

患者数

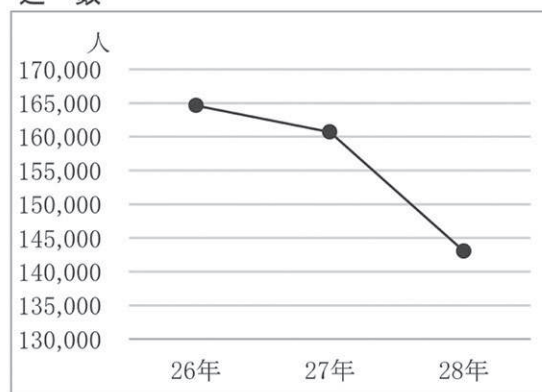
年度	一日平均	延べ数
26年	451	164,625
27年	440	160,711
28年	392	143,039

(人)

一日平均



延べ数



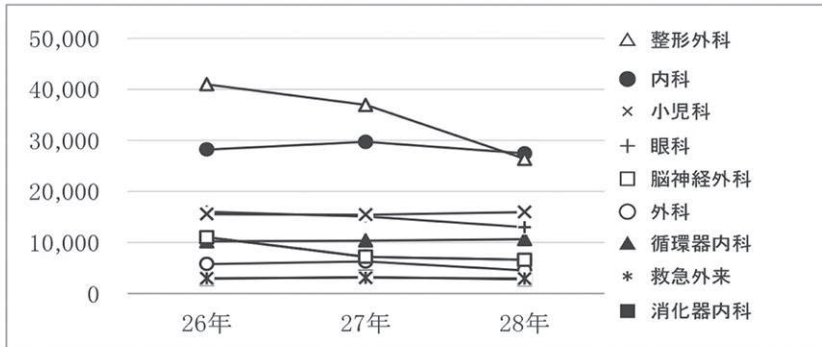
統計資料

診療科別患者数（外来）

常設診療科

(人)

年度	内科	循環器内科	消化器内科	外科	整形外科	脳神経外科	眼科	小児科	救急外来
26年	28,223	10,237	2,890	5,787	40,988	11,017	16,010	15,576	3,000
27年	29,704	10,374	3,247	6,282	36,930	7,209	15,121	15,451	3,111
28年	27,457	10,663	2,819	4,563	26,372	6,623	13,005	15,950	2,949



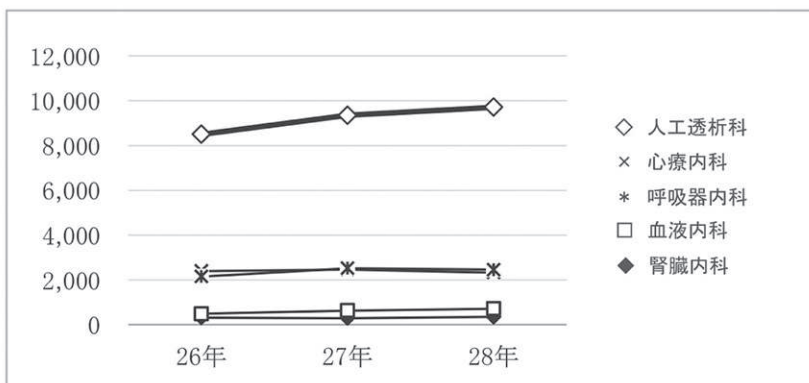
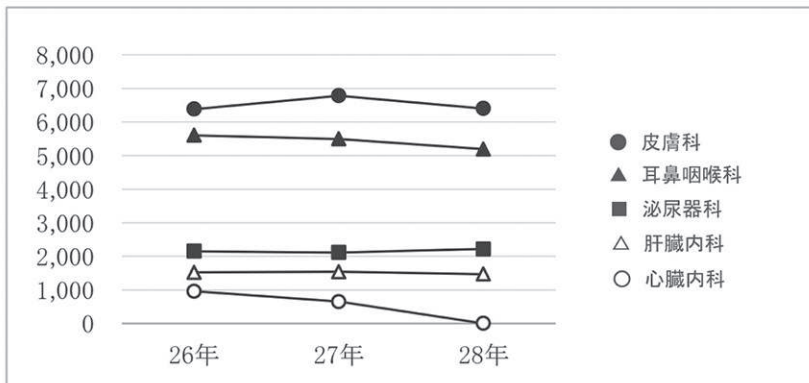
非常設診療科（特殊外来）

(人)

年度	皮膚科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	リハビリ科	肝臓内科
26年	6,383	5,602	2,153	957	1,522
27年	6,782	5,497	2,114	653	1,537
28年	6,400	5,193	2,219	1	1,472

年度	腎臓内科	血液内科	心療内科	呼吸器科	人工透析科	神経内科	麻酔科
26年	316	484	2,399	2,150	8,501	385	45
27年	291	633	2,468	2,521	9,350	1,216	220
28年	353	709	2,329	2,458	9,710	1,587	205

※25年度より神経内科診療開始



統計資料

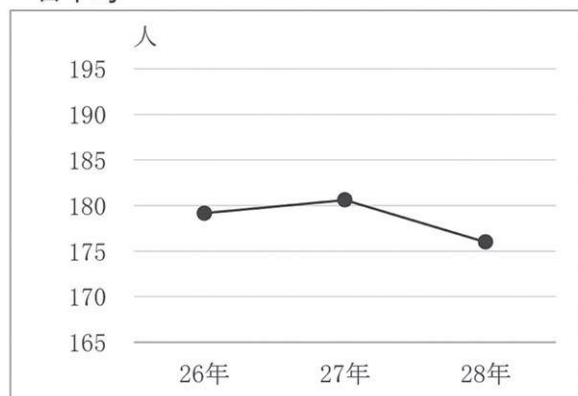
診療科別患者数（入院）

※ 平成21年4月からDPC開始

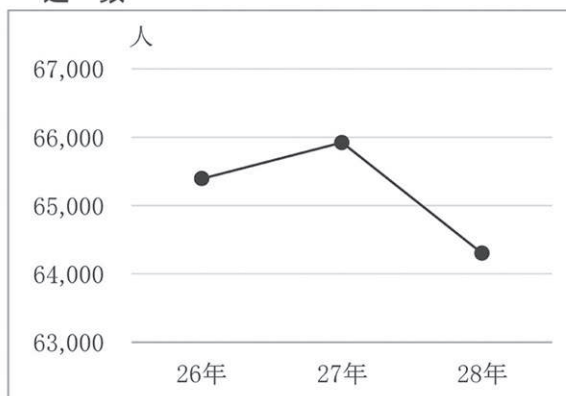
患者数 (人)

年度	一日平均	延べ数
26年	179	65,393
27年	181	65,922
28年	176	64,301

一日平均



延べ数

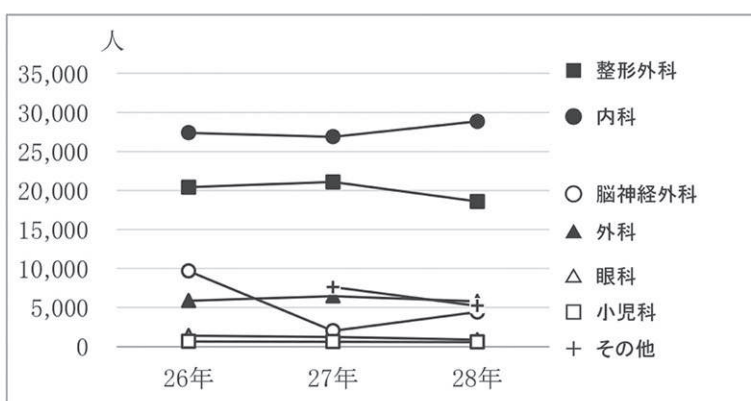


診療科別患者数

(人)

年度	内科	外科	整形外科	脳神経外科	眼科	小児科	神経内科
26年	27,386	5,881	20,410	9,671	1,391	654	—
27年	26,875	6,474	21,083	2,019	1,220	624	7,627
28年	28,845	5,784	18,581	4,429	866	581	5,215

※ 内科は、一般内科、循環器内科、消化器内科を含む。

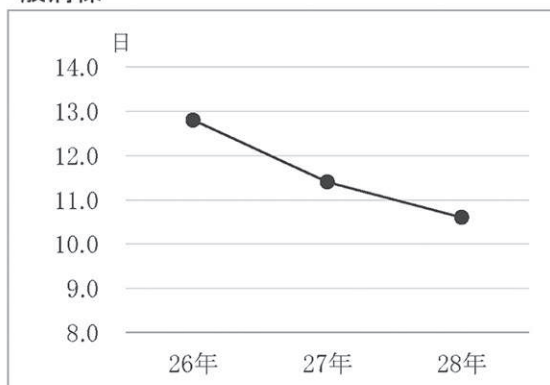


統計資料

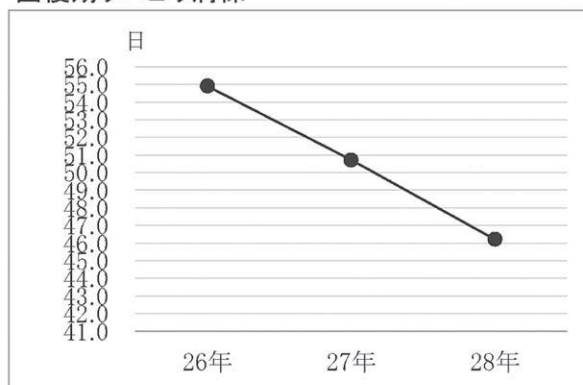
平均在院日数 (日)

年度	一般病棟	回復期 リハビリ病棟	地域包括 ケア病棟
26年	12.8	54.9	-
27年	11.4	50.7	23.0
28年	10.6	46.2	28.3

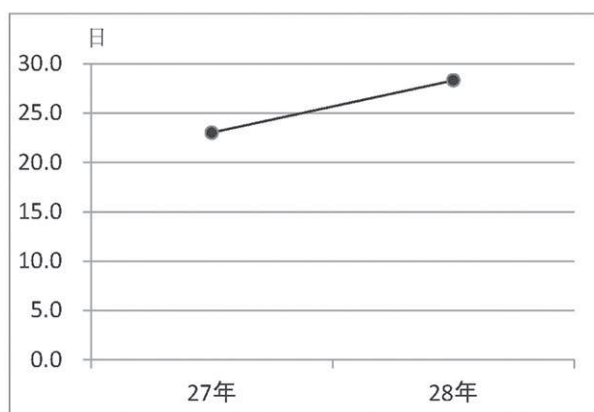
一般病棟



回復期リハビリ病棟



地域包括ケア病棟



統計資料

★がん種別生存率(手術あり・なし全て含む)

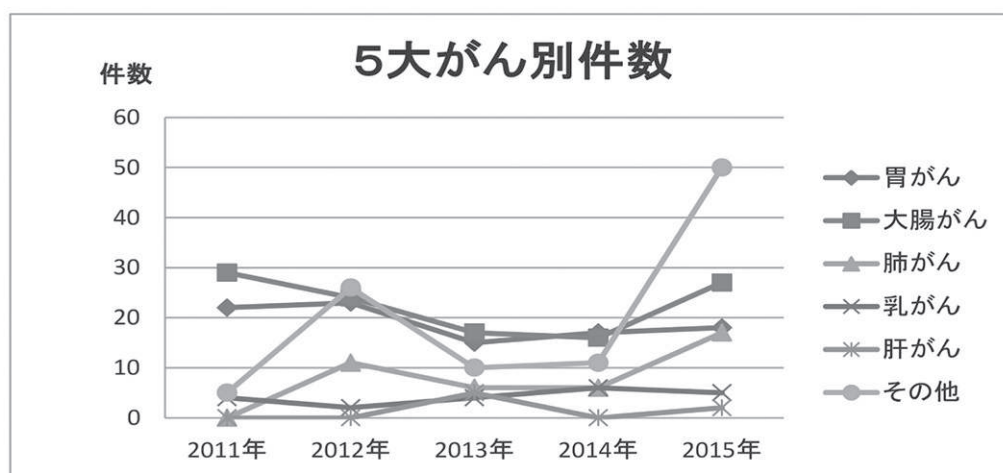
	3年生存率	5年生存率
胃がん	40%	50%
大腸がん	65%	62%
肺がん	50%	-
乳がん	75%	75%

★手術あり生存率

	3年生存率	5年生存率
胃がん	56%	67%
大腸がん	90%	74%
肺がん	50%	-
乳がん	67%	100%

★5大がん別件数

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
胃がん	22	23	15	17	18	95
大腸がん	29	24	17	16	27	113
肺がん	0	11	6	6	17	40
乳がん	4	2	4	6	5	21
肝がん	0	0	5	0	2	7
その他	5	26	10	11	50	102
合計	60	86	57	56	119	378



5大がん以外(現時点で調査中)

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
舌がん	0	1	0	0	2	3
咽頭がん	0	1	0	0	2	3
食道がん	2	4	2	5	5	18
胆嚢胆管がん	0	3	0	4	6	13
十二指腸がん	1	0	0	0	0	1
膵臓がん	1	0	1	0	2	4
喉頭がん	0	1	1	0	1	3
甲状腺がん	1	0	0	0	0	1
皮膚がん	0	10	4	2	11	27
悪性軟部腫瘍	0	0	0	0	1	1
前立腺がん	0	0	0	0	12	12
膀胱がん	0	2	0	0	4	6
甲状腺がん	0	3	0	0	1	4
脳腫瘍	0	0	0	0	1	1
リンパ節	0	1	2	0	0	3
白血病	0	0	0	0	1	1
副腎	0	0	0	0	1	1
合計	5	26	10	11	50	102

へき地医療センター

へき地医療センター

高齢化の進行や医療技術の進歩、国民の意識の変化など、医療を取り巻く環境が大きく変わる中で、国民の医療に対する安心、信頼を確保し、質の高い医療サービスが適切に提供される医療提供体制の確立が求められています。

その為、地域医療の重要な担い手である医療法人 について、救急医療やへき地医療、周産期医療など特に地域に必要な医療の提供を担う医療法人を新たに社会医療法人として位置づけることにより、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保が図られました。

そこで、種子島医療センターは、へき地医療に係る基準を満たし、平成22年4月に社会医療法人の認定を受け、へき地診療センターを開設しました。

種子島医療センターは、平成26年11月にへき地医療拠点病院の指定を受け、へき地医療センター長 猿渡邦彦医師の継続的なへき地派遣を始め、常勤医21名の体制で種子島・屋久島の地域医療を支えています。

へき地医療センターの事業内容

- ・へき地診療所への代診医の派遣及び技術指導、援助
- ・派遣医師等の確保
- ・へき地医療従事者への研修、研修施設の提供

へき地派遣実績

平成26年度	派遣医師	派遣回数	派遣先
	小児科	90回	種子島産婦人科医院
	麻酔科	51回	種子島産婦人科医院

平成27年度	派遣医師	派遣回数	派遣先
	小児科	86回	種子島産婦人科医院
	麻酔科	29回	種子島産婦人科医院
	外科	8回	種子島産婦人科医院
	皮膚科	46回	屋久島町栗生診療所

平成28年度	派遣医師	派遣回数	派遣先
	小児科	87回	種子島産婦人科医院
	麻酔科	23回	種子島産婦人科医院
	皮膚科	44回	屋久島町栗生診療所

田上診療所

田上診療所実績

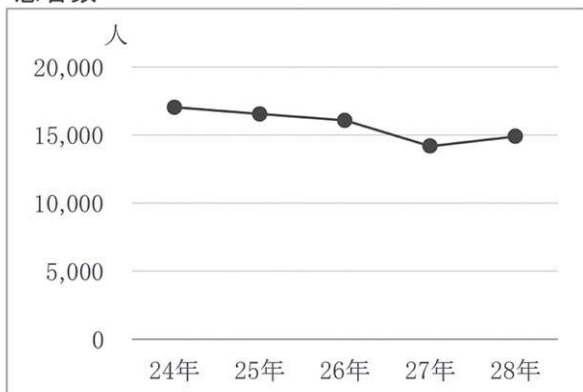
外 来

患者数

年度	患者数
24年	17,033
25年	16,547
26年	16,073
27年	14,184
28年	14,900

(人)

患者数



訪問看護

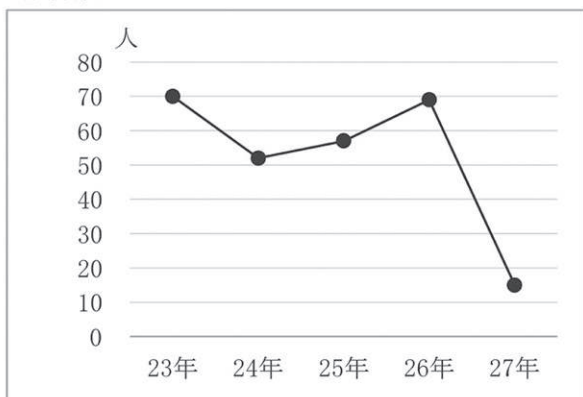
患者数

年度	患者数
23年	70
24年	52
25年	57
26年	69
27年	15

(人)

※27年8月より訪問看護中止

患者数



介護老人保健施設
わらび苑

わらび苑実績

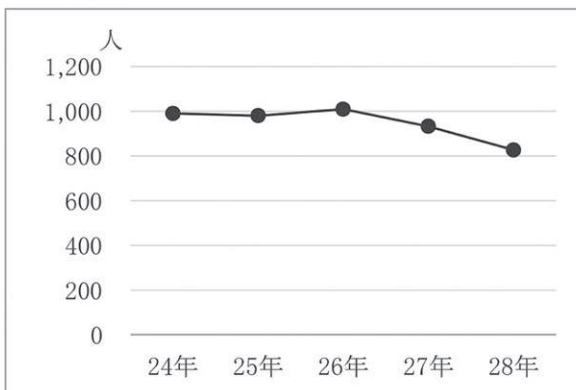
入所

利用者数

年度	利用者数
24年	990
25年	980
26年	1,009
27年	932
28年	827

(人)

利用者数



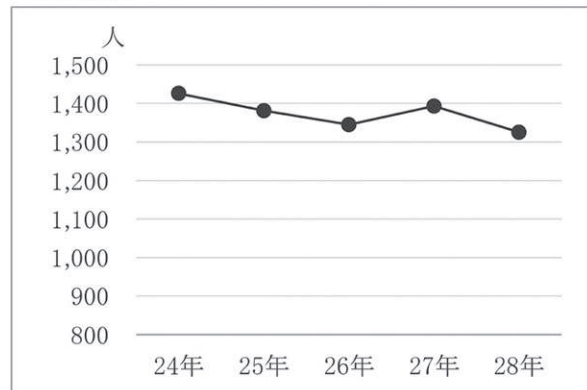
通所リハビリテーション

利用者数

年度	利用者数
24年	1,426
25年	1,381
26年	1,345
27年	1,393
28年	1,325

(人)

利用者数



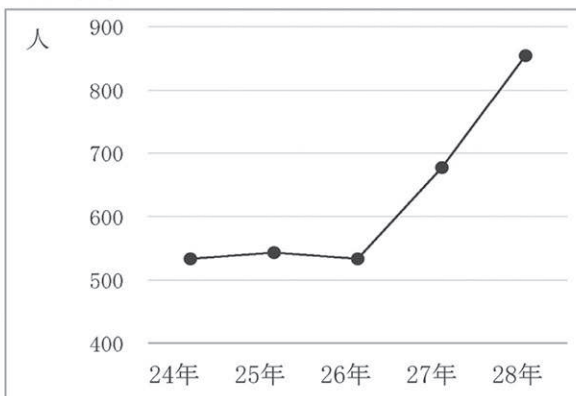
短期入所

利用者数

年度	利用者数
24年	533
25年	543
26年	533
27年	677
28年	854

(人)

利用者数



居宅介護支援事業所

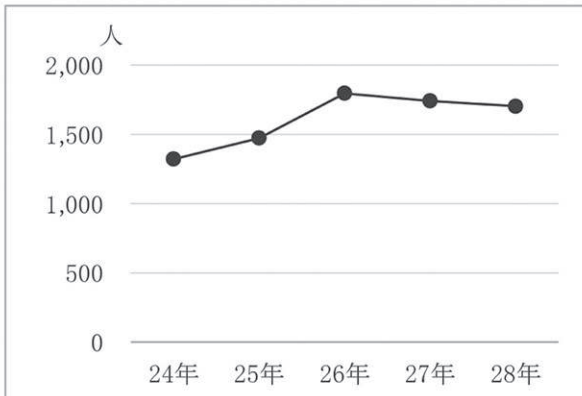
(介護支援計画)

利用者数

年度	利用者数
24年	1,322
25年	1,473
26年	1,796
27年	1,741
28年	1,703

(人)

利用者数

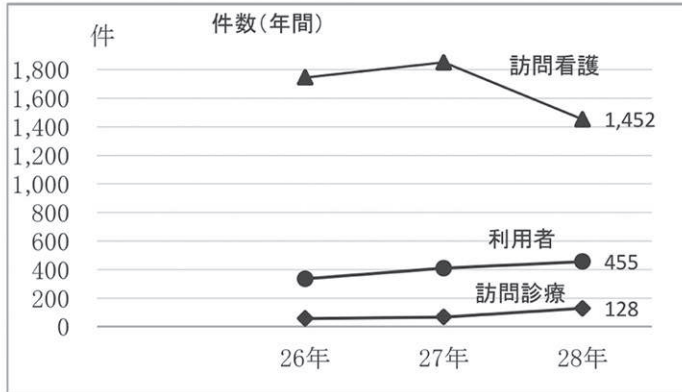


その他の施設

その他の施設実績

訪問看護ステーション「野の花」

年度	利用者		訪問看護(件)		訪問診療(件)	
	登録数(月平均)	利用件数(年間)	月平均	年間	月平均	年間
26年	28	335	145	1,745	5	57
27年	34	410	154	1,851	6	67
28年	38	455	121	1,452	11	128



種子島医療センター 保育所

(人)

年度	利用者数(常時)		利用者数(臨時)	
	登録数(月平均)	利用数(年間)	登録数(月平均)	利用数(年間)
26年	16	195	46	249
27年	13	161	16	190
28年	11	137	18	210

